

学校図書館担当者のためのコンピュータ入門

－情報機器操作の中級レベルを目指して－



書庫テクニカルサポート

2020.8.1

はじめに：

Win書庫のサポートを通じて、様々な学校図書館担当者とお話をする機会がありますが、そこで感じるのがリテラシーの較差です。場合によっては、Windowsの基本操作の説明が必要なことも多くあります。また、多端末運用を行っている図書館では、ネットワークの基礎的な説明が必須となります。このような状況をふまえて、この説明書では、学校図書館の管理に必要なコンピュータの知識を、初心者レベルから中程度のレベルを対照に説明しています。(説明中の具体例は、Windows10 及びWin書庫V4.1 で説明します。) 全てをお読みいただく必要はありませんので、必要のない項目や理解できない内容は読み飛ばして下さい。この説明書に書かれてある内容を全て理解する必要はありません。

目次：

第1章 Windows操作の基礎	p1～p38
◆Windows操作の説明でよく使う言葉	
1-1 Windowsのバージョンによる違い	5
◇Windowsのバージョン	
◇Windowsのエディションによる違い	
1-2 デスクトップとウィンドウの操作	7
◇デスクトップの構成	
A. スタートボタン	
B. 検索ボックスと音声検索	
C. タスクビュー	
D. タスクバーへのピン留め	
E. 通知領域	
F. 日付と時刻	
G. アクションセンター	
1-3 ファイルやフォルダーの操作	23
A. ドライブ操作	
B. ツールバー	
C. ツールバー	
◆マウス右クリックメニューの動作	
◆マウス右クリックメニューの「プロパティ」について	
D. 場所の移動	
E. 現在の場所を表示	
F. 検索	
◆フォルダーやファイルのコピーと移動・削除について	
1-4 文字コード	36
1-5 スクリーンショットの活用	37
◇PrintScreenキーを使ったスクリーンショット	
◇Snipping Toolを使ったスクリーンショット	
第2章 Windows操作の発展	p39～p76
2-1 タスクマネージャー	40
◇タスクマネージャーの起動方法	
◇タスクの強制的な停止	
◇スタートアップ	
《アプリをスタートアップに登録する》	
◇パフォーマンス	
2-2 管理と設定	45
◇タスクスケジューラ	
◇イベントビューアー	
◇デバイスマネージャー	
◇ディスクの管理	

2-3	バックアップと復帰・以前のバージョン	54
	◇通常のバックアップとバックアップデータによる復元	
	◇復元ポイントの作成とシャドウコピーによるバックアップ	
	◇回復ドライブの作成と回復ドライブによる復元	
2-4	パワースhellとコマンドプロンプト	73
	◇パワースhellの起動方法	
	◇「パワースhell」でできること	
	◇コマンドレットの構造	
	◇コマンドプロンプトの起動	
	◇コマンドプロンプトのコマンド(抜粋)	
	◇バッチファイルでのコマンドの利用	
第3章 ネットワークの基礎		p77～p93
	◇ネットワークの種類	
3-1	ネットワーク器機	79
	◇LANカード(LANボード)	
	◇Windowsで使用するLAN	
	◇ハブ・スイッチングハブ	
	◇ルーター	
	◇ファイアウォール	
	◇一般的な校内LANのネットワーク器機の接続構成	
3-2	Windowsサーバーネットワーク	82
	◇Windows Server が提供する主な機能	
	◇ファイルサーバーを利用した「Win書庫」の運用	
	◇ドメイン運用について(あくまでも参考です)	
3-3	Windowsピアツーピアネットワーク	85
	◇ピアツーピアネットワークによる多端末運用の構築	
	◇登録端末の設定(サーバーの役割/共有資源を提供)	
	◇クライアント機にV4.1起動の為のショートカットを貼り付ける。	
3-4	学校ネットワークによる図書管理	91
	◇学校ネットワークを使ったWin書庫の構築	
3-5	インターネットによる図書管理	93
第4章 Excelの活用		p94～p154
4-1	XLSX(XLS)ファイルとCSVファイル	95
4-2	Excelの基本	97
	◇Excelのブック・シート・セル	
	◇セルのデータ表示	
	◇Excelのオプション:基本設定	
	◇Excelのオプション:数式	
	◇Excelのオプション:保存	
	◇Excelのオプション:詳細設定	
	◇セキュリティセンター	
	◇複数のブックを表示する	
	◇行と列の調整	
	◇不連続な複数のセルや行・列を選択する	
	◇セルの行・列の挿入/削除	
	◇セルの文字配置	
	<リボンの「ホーム」の配置で設定する>	
	<セルの書式設定で設定する>	
	◇セルの塗りつぶしと網掛け	
	◇条件付き書式	
	◇オートファイル	
	<オートファイルの種類>	
	<オートファイルによるセル参照の調整>	
	◇入力規則	
	<入力時にメッセージを表示する>	
	<入力できるデータを制限する>	
	<入力規則の解除>	
	◇ショートカットキー	

4-3	関数	116
	◇IF	◇EXACT
	◇SUM	
	▼ (参考) セルの位置 (番地) の指定	
	▼ (参考) セル番地の参照	
	◇SUMIF	◇SUMIFS
	◇AVERAGEIF	◇AVERAGEIFS
	◇COUNTA	◇COUNTBLANK
	◇COUNTIFS	◇AVERAGE
		◇COUNT
		◇COUNTIF
	▼セル番地を「絶対番地」で記述する	
	◇ROUND	◇ROUNDDOWN
	◇MAX	◇LARGE
	◇SMALL	
	▼ LOOKUP系関数について	
	◇LOOKUP	◇VLOOKUP
	◇LEFT	◇MID
	◇CONCATENATE	◇CONCAT
	◇AND	◇OR
		◇HLOOKUP
		◇RIGHT
		◇PHONETIC
		◇IFERROR
4-4	更新用クラスファイルの作成	138
	◆VLOOKUP関数を使って新クラスファイルにWin書庫のIDデータを追加	
	◆氏名データを比較して新クラスファイルにWin書庫のIDデータを追加	
4-5	エクセルシートへのバーコード印刷	148
	◇バーコードデータについて	
4-6	印刷マクロの画面編集	151
	◇Win書庫V4.1の印刷マクロファイル	
	◇マクロが自動実行される場合の対処	
第5章	コンピュータの世界	p 155～p 174
5-1	コンピュータの歴史	156
5-2	コンピュータの構造	159
	◇コンピュータに関わる数値表現	
	◇コンピュータを構成するユニット	
	◇外部接続規格 (インターフェイス)	
	参考: ハードディスク取り扱いの注意	
5-3	コンピュータの周辺器機	164
	◇ディスプレイ	
	◇プリンター	
	◇バーコードリーダー	
5-4	ソフトウェア	169
	◇コンピュータを動作させるのに必要なソフトウェア	
	◇動作不良が起こった時の対処	
5-5	コンピュータの種類	171
	◇OSによる種類	
	◇クライアント系コンピュータ	
	◇サーバー系コンピュータ	
	◇両方の機能を持つコンピュータ	
	◇32bit系コンピュータと64bit系コンピュータ	
5-6	学校図書館で使用するコンピュータ	173
付録	用語解説	p 175～p 239

※説明中の下線網掛けの用語番号は、付録の用語解説に簡単な説明があります。
用語解説には、上記以外の用語も解説しています。(番号 は用語番号)

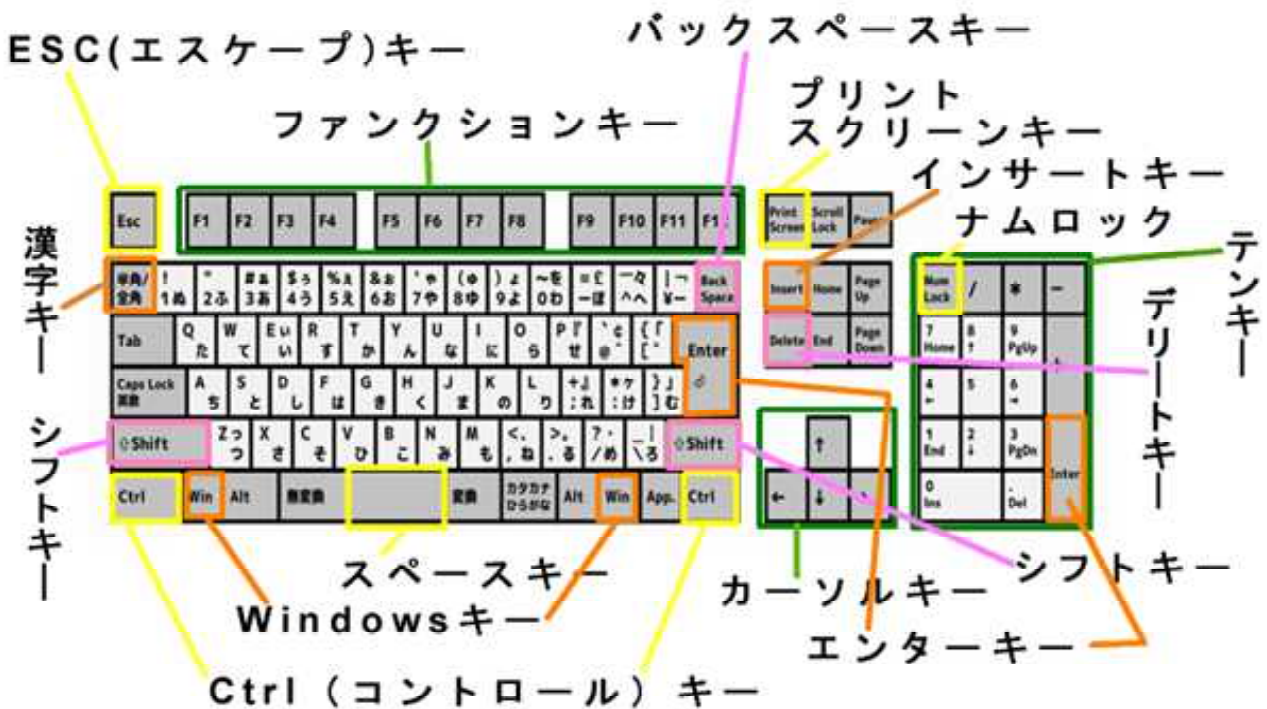
第1章 Windows操作の基礎

[第1章目次] p1～p38

◆Windows操作の説明でよく使う言葉	2
1-1 Windowsのバージョンによる違い	5
◇Windowsのバージョン	5
◇Windowsのエディションによる違い	6
1-2 デスクトップとウィンドウの操作	7
◇デスクトップの構成	
A. スタートボタン	7
B. 検索ボックスと音声検索	18
C. タスクビュー	19
D. タスクバーへのピン留め	20
E. 通知領域	21
F. 日付と時刻	21
G. アクションセンター	22
1-3 ファイルやフォルダーの操作	23
A. ドライブ操作	23
B. ツールバータブ	23
C. ツールバー	23
◆マウス右クリックメニューの動作	27
◆マウス右クリックメニューの「プロパティ」について	28
D. 場所の移動	33
E. 現在の場所を表示	33
F. 検索	33
◆フォルダーやファイルのコピーと移動・削除について	34
1-4 文字コード	36
1-5 スクリーンショットの活用	37
◇PrintScreenキーを使ったスクリーンショット	37
◇Snipping Tool を使ったスクリーンショット	37

◇マウスとキーボード

- ・ クリック マウスの左ボタンを1回押すこと。わざわざ左クリックとは言いません。
- ・ 右クリック マウスの右ボタンを1回押すこと。
- ・ ドラッグ マウスの左ボタンを押したまま、マウスを上下左右に動かすこと。
- ・ スクロールボタン マウスにある回転ボタン。前後に回転させることで、表示中の画面を上下にスクロールする事ができます。
- ・ マウスカーソル マウスポインターとも呼ばれ、画面上のマウスの位置に、指マークや十字マーク等が表示されます。(操作できる内容に応じて、カーソルの形状が変わります。)
- ・ カーソル 入力カーソルとも呼ばれ、キーボードからの入力を受け付ける場所を示します。(キーボードから入力された文字などは、このカーソル位置に表示されます。)
- ・ **IME** キーボードの文字入力を制御するプログラムです。日本語キーボードでは、日本語入力と英数記号入力を切り替えます。(Input Method Editor の略)
- ・ カーソルキー 入力カーソルを、上下左右に移動させるキーです。カーソル位置によっては、動きが制限される場合があります。
- ・ NumLockキー キーボードの「数字キーブロック」を、数字入力に固定します。再度押すと、解除されます。
- ・ Windowsキー 「Windowマーク」が刻印されたキーで。クリックすると、スタートメニューが表示されます。また、他の文字キーと組み合わせてタイプすると、様々な機能呼び出すことができます。
- ・ 漢字キー キーボードの入力モードを、日本語モードと英数モードを切り替えます。
- ・ PrintScreenキー 現在のデスクトップ画面の「イメージコピー」を行います。コピーしたデータは、「クリップボード³⁷⁴」と呼ばれる領域に保存されます。保存したデータは、マウス右クリック「貼り付け」で、別の場所に表示する事ができます。
- ・ Insertキー キーボードによる文字入力の、「上書きモード」 / 「挿入モード」を切り替えます。
- ・ BackSpaceキー 入力カーソルの左側の文字を、1文字消します。
- ・ Deleteキー 入力カーソルの右側の文字を、1文字消します。
- ・ エンターキー **アプリケーション**³¹²などでのキー入力を確定します。
- ・ シフトキー キー入力での文字の大文字 / 小文字を切り替えます。



上図は、標準的な日本語キーボードのキー配列です。

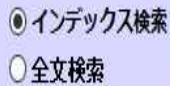
◇ウィンドウ

- ・フォーム
アプリケーションを実行した時、デスクトップに表示される画面のこと。フォームは、基本的には以下の構造を持ちます。
- ・タイトルバー
フォーム最上部のバー。アプリケーション名を表示。
- ・システムボタン
タイトルバーの右側に示される3つのボタンのこと。左から、最小化ボタン/最大化・縮小ボタン/閉じるボタン
- ・メニューバー
アプリケーションフォームの上部にあるバー。通常は、上から2番目にあるバー。各種プルダウンメニューが配置され、クリックしてを行います。
- ・ツールバー
アプリケーションフォームの上部にあるバー。通常は、上から3または4番目にあるバー。アプリケーションを操作する各種のボタンが並びます。
- ・ステータスバー
アプリケーションフォームの最下部にあるバー。アプリケーションの現在の状態や、マウスカーソルヘルプ（フォーム上で、マウスカーソルを合わせた時に表示される簡単なヘルプメッセージ）を表示します。
- ・ダイアログ441
各種の設定や操作を行うウィンドウ
- ・ファイルダイアログ
ファイルを開いたり、保存したりする時、ファイルを指定する時に表示されます。
- ・フォントダイアログ
フォントを設定する為のダイアログ。

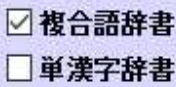
- ・カラーダイアログ 文字やグラフィックスの色を指定するためのダイアログ。
- ・メッセージボックス ダイアログではありませんが、メッセージを表示する小さなウィンドウ。はい/いいえの選択を要求する場合があります。

◇フォームの部品

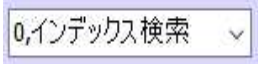
- ・テキストボックス キーボード入力を受け付ける部品
- ・ボタン マウスボタンでクリックして実行する部品
- ・ラベル フォーム上に表示する文字列
- ・リンクラベル クリック可能なラベル（クリックで何かが実行される）
- ・パネル 各種部品をまとめる枠
- ・ラジオボタン 複数をグループ化し、どれか1つだけ選択できる部品



- ・チェックボックス チェックのあり/なしで動作を決める部品



- ・リストボックス 複数の項目を保持する部品。複数の部品が表示される。
- ・コンボボックス 複数の項目を保持する部品。1項目だけ表示され、プルダウンで選択する。



- ・グリッド 二次元配列の項目を表示するExcelの表のような部品。
- ・スクロールバー 一覧表示された内容を、上下左右に動かす部品
- ・アップダウン クリックして値の増減を行う部品。テキストボックスに直接数値を入力することこともできます。
(テキストボックスに入力した場合は、エンターキーを押す必要がある場合があります。)



- ・プルダウンメニュー クリックすることで、メニュー項目リストが垂れ下がる構造のメニュー。

- ・コンテキストメニュー アプリケーションの状態に応じて、動的に変化して表示されるメニュー。(通常メニューは、表示される項目がいつも同じ) マウス右クリックで表示されるメニューの
のことを示す場合もある。

Windowsには、様々なバージョン⁵⁰⁶があります。バージョンによっては、目的のアプリケーションが動作しない場合や、操作手順が異なったり、動作そのものが異なってしまう場合もあります。ここでは、現在多くの学校で使用されているバージョンについて注意点を説明します。

◇Windowsのバージョン

- ・ Windows XP (2001-2014) 以前のWindowsとの互換性⁷¹⁰を重視したバージョンで、古いソフトを使い続ける必要がある企業などでは、現在もこのバージョンが使われています。互換性を重視したため、新しい設計のソフトとの相性が悪い場合があります。標準の日本語文字コード⁷⁴⁵はShift-JIS²³⁷で、Win書庫V4.1も完全な動作は保証できないバージョンです。
- ・ Windows Vista (2006-2017) ハードウェアの互換性の問題がある場合が多く、またセキュリティ上の危険性が高いなど、問題の多いバージョンと評価されており、Windows XPからの移行はあまり進まなかった。標準の日本語文字コードはShift-JISで、Win書庫V4.1も完全な動作は保証できないバージョンです。
- ・ Windows 7 (2009-2020) Windows Vistaの旧製品との互換性の悪さを改善したバージョンがWindows 7です。後出のWindows 8/8.1よりも安定性や使い勝手が良いと考えるユーザーが多く、Windows XPの後継として長く使われたバージョンです。標準の日本語文字コードもようやくこのバージョンからUnicode²⁴²に変更され、Win書庫V4.1も快適に動作します。
- ・ Windows 8/8.1 (2012-2018) Windows 7よりも後にリリースされたバージョンであるにも関わらず、先にサポートが終了したことから分かるように、不人気なバージョンです。スタートボタンが無くなるなどユーザーインターフェイス⁶⁰⁹を大巾に変更した為、非常に使い辛いバージョンでした。STSでは、このバージョンのWindowsは使用していないので、Win書庫V4.1の動作についてはコメントできません。
- ・ Windows 10 (2015-) 2020年時点でのWindowsの最新版。マイクロソフトは、このバージョンからアップデートの方針を大巾に変更して、毎年3月と9月に、Windows Update²⁸¹を通じて、無償でアップデートが提供されます。(マイクロソフトは、Windows 10が最後のバージョンだとアナウンスしています。) 機能的にも、従来のソフトとの互換性も高く、信頼性も向上しており、安心して使用できるバージョンに仕上がっています。もちろん、Win書庫V4.1も安定して動作します。

参考：Win書庫の開発OS

1989年	書庫V1 (JIS版) 最初のバージョン	MS-DOS/V ²⁰⁹
1995年	書庫V5/Jr (Shift-JIS版)	MS-DOS/V
1996年	Win書庫V1 (Shift-JIS版)	Windows 95
2009年	Win書庫V3/3.1/3.2 (Shift-JIS版)	Windows XP
2010年	Win書庫V4 (Unicode版)	Windows 7
2016年	Win書庫V4.1 (Unicode版)	Windows 10
		※MS-DOS ²⁰⁹ Windows以前のOS

エディション³⁴⁵とは、同じバージョンのWindowsでの「機能レベル」の違いのことです。エディションの種類は、Windowsのバージョンにより微妙に異なっていますが、学校が使用するWindowsの場合は、ほとんどの場合、次の②か③のエディションです。

Windows7のエディション（全エディション6種類）

- ・ Home Premium ①
- ・ Professional ②

Windows10のエディション（全エディション7種類）

- ・ Home ①
- ・ Pro ②
- ・ Education（Pro Education） ③

①のエディションは、家庭での個人利用を想定したエディションです。個人で使用する場合は、このエディションで充分ですが、「**ドメイン機能⁴⁸⁷**」が利用できない点に注意して下さい。

②のエディションは、ほぼフル機能のWindowsが利用できます。具体的には、Homeに次のような機能が追加されます。

- ・ **ドメイン管理⁴⁸⁶**できる ※学校での使用には必須の機能です
- ・ **リモートデスクトップ⁶¹⁶**が使える ※使用することはありません。
- ・ **仮想マシン⁶⁷³**が使える ※使用することはありません。
- ・ **BitLocker⁷¹**で暗号化できる ※**外部記憶装置⁶⁵⁷**のセキュリティを高める。

③のエディションは、②の機能を全てと、学校で必要とされる管理コントロール機能を含みます。

参考：ドメイン機能

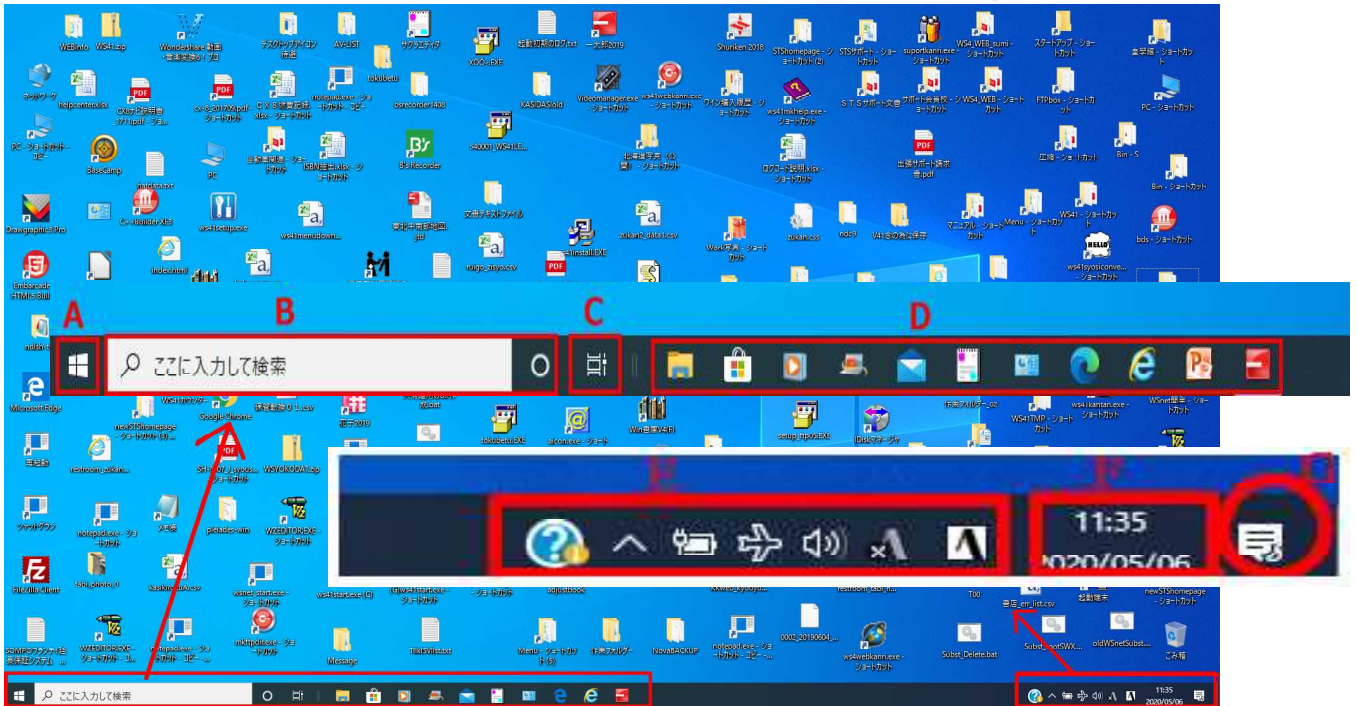
学校内のネットワークで、Windows Server を運用している場合、サーバーに接続するユーザーの管理や、サーバーの共有を安全に保つための仕組み。ドメイン機能がないWindowsエディションでは、サーバーに安全に接続する事ができない。

まとめ： 学校で使用するコンピュータのWindowsエディションは、基本的にPro以上が必要です。教育委員会などによっては、Homeエディションでの、校内LANへの接続を禁止している場合もあるので注意して下さい。

1-2 デスクトップとウィンドウの操作

◇デスクトップの構成

・デスクトップ画面最下部の帯状の部分「タスクバー」と呼びます。

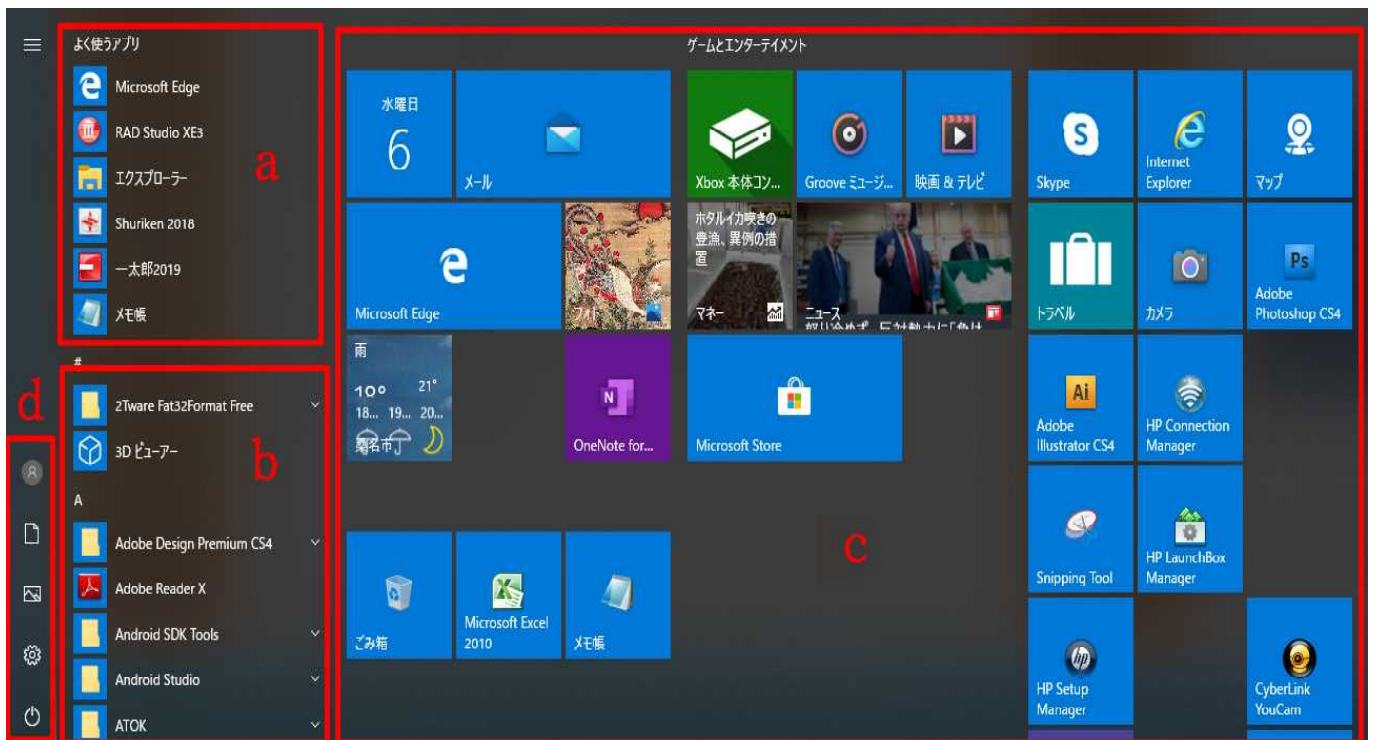


A. スタートボタン

名前のとおりWindowsを操作する1つの開始ポイントとなるボタンです。
(「1つの」と書いたのは、他にもたくさんの開始ポイントがあるからです。)

スタートボタンをクリック

スタートメニューが表示されます。

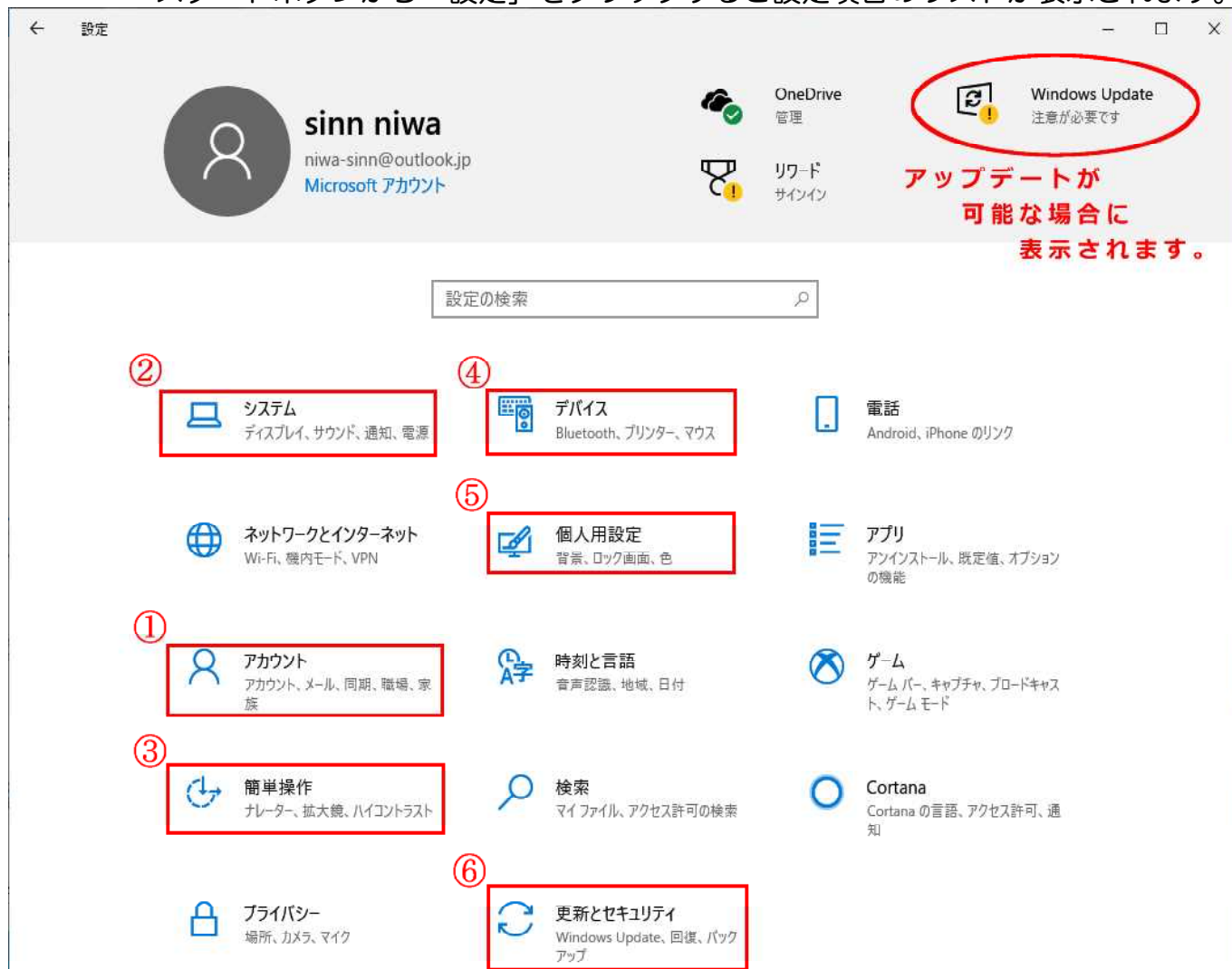


a 最近何度も起動したアプリケーションがリストされます。

- b インストールされているアプリケーションが昇順に表示されます。
- c 「ゲームとエンターテインメント」という名前が付いていますが、スクロールダウンすると、インストールされている様々なソフトのアイコンがリストされていることが分かります。
- d 下から、電源ボタン・設定ボタン等が並びます。

スタートボタンをクリックする操作は、ほとんどの場合「シャットダウンして電源をOFFにする」時か、a・bから目的のアプリケーションを起動する時、およびdの「設定」を利用する時です。

スタートボタンから「設定」をクリックすると設定項目のリストが表示されます。



たくさんの設定項目がありますが、初歩程度の利用では、ほとんどの設定項目を利用することはありませんが、主な項目について以下に説明します。

上記の設定項目一覧（カテゴリー）から、①から⑥の項目について説明しますが、学校での使用では、設定変更が必要な場合はほとんど無いと思います。

各項目を開くと、さらに細かく区分された設定項目が表示されます。例えば②のシステムを開くと、ディスプレイやサウンドといった項目がリストされています。また、③簡単操作を開くと、そこにもディスプレイや拡大鏡・・・などがリストされています。このように、複数のカテゴリーに同じ設定項目が重複してリストされているので、1つの項目の設定を行う場合、異なるカテゴリーからアプローチできる場合があることに注意して下さい。

①アカウント

ユーザーの情報



STSNiwa

管理者

「標準ユーザー」の場合は、おそろ
いように制限して
種類が
する項目について

アカウント²⁹⁵は、Windowsを使用する際の「ユーザー」に関する設定を行うカテゴリです。学校のコンピュータで使用する場合は、一般的に、設定を変更することはありませんが、自分自身がどのようなアカウントで利用しているのかを知っておくことは意味があるので、一度確認しておくといいでしょう。

アカウント：Windowsを使用するユーザーは、ユーザー名とパスワードをセットで登録します。この情報をアカウントと呼びます。ユーザーに、どのような操作が許可されるかは、「アカウントの種類」により異なります。(次の2種類)

標準ユーザー Windowsの重要な設定は変更できません。

管理者 Windowsの全ての設定変更が可能です。

アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合は、おそろいように制限して種類がする項目について

②システム

このカテゴリには、多くの設定項目がありますが、図書館で使用する限りでは、次の2項目が利用の可能性が
あります。

ディスプレイ

※③簡単操作で説明します。

バージョン情報

使用しているコンピュータのハードウェア情報とWindowsのバージョン情報を表示します。

バージョン情報

デバイスの仕様

デバイス名	STSniva-HP	ア
プロセッサ	Intel(R) Core(TM) i7-3610QM CPU @ 2.30GHz 2.30 GHz	イ
実装 RAM	16.0 GB (15.9 GB 使用可能)	ウ
デバイス ID	80289733-1380-4CF7-A4BD-C3608A917874	
プロダクト ID	00330-80000-00000-AA362	
システムの種類	64ビットオペレーティングシステム、x64 ベース プロセッサ	エ
ペンとタッチ	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません	

この PC の名前を変更

Windows の仕様

エディション	Windows 10 Pro	オ
バージョン	1903	
インストール日	2019/08/03	
OS ビルド	18362.778	

ア. このコンピュータに付けられた名前

(Win書庫では、サポート認証にこの情報を使用しています。)

イ. CPUの種類と性能を示す (CPUの名称と、処理能力や動作周波数⁷⁴¹)

ウ. 使用できるメモリー量 (一般的に、実装量が多いほど、アプリケーションの動作が軽くなります。)

エ. CPUの動作仕様 (32ビット⁴³または64ビット⁴⁹が表示されます。一般的には、64ビットの方がアプリケーションの動作は速くなります。)

オ. Windowsのバージョン情報

参考：使用するアプリケーションのサポートを受ける際、ハードウェアの構成やWindowsのバージョンを質問されることがあります。その場合は、この項目を確認して下さい。

③簡単操作

このカテゴリには、Windowsの使い勝手を変更する為の設定が多く含まれています。設定を変更することで、今まで使いづらいと思っていたことが改善されることもあるので、一度チェックしておくといいでしょう。ここでは、「ディスプレイ」について説明します。

ディスプレイ

表示する文字の大きさや明るさ、解像度などを設定します。

ディスプレイ

ディスプレイを見やすくします。

文字を大きくする

サンプル テキスト

サンプル テキストが読みやすい大きさになるまでスライダーをドラッグし、[適用]をクリックする

A  A ア

適用

全体を大きくする

メイン ディスプレイのアプリとテキストのサイズを変更する

175% 

[その他のディスプレイでアプリとテキストのサイズを変更する](#)

[カーソルとマウス ポインターの色とサイズを変更する](#)

全体を明るくする

内蔵ディスプレイの明るさを変更する

  25% イ

[明るさを自動的に変更するか、夜間モードを使用する](#)

ディスプレイ

ディスプレイの解像度


1920 × 1080 (推奨) 

画面の向き

横 

マルチ ディスプレイ

複数のディスプレイ

表示画面を複製する 

ア. 文字を大きくする

スライダーを左右にドラッグすることで、表示する文字の大きさを変更する事ができます。(画面の全ての文字の大きさを変更できる訳ではありません。)

変更した文字の大きさによっては、表示画面のレイアウトが乱れる場合があるので、適切なサイズに調整して下さい。

イ. 全体を明るくする

スライダーを左右にドラッグすることで、画面の明るさを変更する事ができます。

※ 設定パネルを下にスクロールダウンして、<ディスプレイの追加設定>をクリックすると、次の設定項目が表示されます。

ウ. ディスプレイの解像度

使用しているディスプレイが持っている表示モードの範囲内で変更できます。

Win書庫の推奨解像度は、**1280×1024**です。

エ. 複数のディスプレイ

複数のディスプレイが接続されている場合のモードを指定します。(2台接続している場合は、普通は「**表示画面を拡張する**」で使用します。

参考：複数のディスプレイを使って、画面を拡張して利用する場合や、1画面でも、十分に大きなサイズのディスプレイの場合、Win書庫を複数起動して、異なるメニューを同時に表示させて作業を行うことができます。(同一のメニューを、複数起動することはできません。また、**同じデータに同時に書き込むようなメニューの使い方は避けて下さい。データ不整合を起こします。同一端末での運用では、「排他制御」を行うことはできません。**)

④デバイス

このカテゴリでは、主にコンピュータに接続されている外部器機の設定を行います。ここでは、**既定のプリンター**を設定する手順を説明します。

プリンターとスキャナー

通常使うプリンターの設定や個々のプリンターの管理を行います。

プリンターとスキャナー


 Microsoft Print to PDF
このデバイスで利用できるアプリ

 Microsoft XPS Document Writer

 OKI MC562(PCL)

 OKI-MC562-C6A3B1
既定、オフライン

 OneNote 2010 に送る

 OneNote for Windows 10


接続されているプリンターやスキャナーの一覧が表示されます。

操作しようとする器機をクリックすると、管理ボタンが表示されます。(画面ウ)

ア. **既定のプリンター**とは、プリンターを指定せずに印刷した時、標準のプリンターとして選択されるプリンターです。

イ. 既定のプリンターを解除する場合にチェックを付けます。

Windows で通常使うプリンターを管理する
この設定をオンにすると、現在の場所で最後に使用したプリンターが通常使うプリンターとして設定されます。

 OKI-MC562-C6A3B1
既定、オフライン

キューを開く

管理

デバイスの削除

上記画面に表示された器機をクリックすると、この表示になります。

<管理>ボタンをクリックすると、次の画面になります。

OKI-MC562-C6A3B1

デバイスの管理

このデバイスには、いくつか異なる機能があります。その機能の設定を管理するために、1つを選択してください。

OKI-MC562-C6A3B1

プリンターの状態: 既定、オフライン

プリンター キューを開く

既定として設定する

テスト ページの印刷

トラブルシューティング ツールの実行

プリンターのプロパティ

印刷設定

オ. 既定として設定する

このボタンをクリックすると、このプリンターが「既定」に設定されます。

既定を解除するには、上の図の、「イ. Windowsで通常使うプリンターを管理する」に、チェックを付けて下さい。

⑤個人用設定

このカテゴリでは、デスクトップのテーマやロック画面、スタート画面などを設定します。ここでは、デスクトップの設定とフォントについて説明します。

ロック画面

デスクトップの背景や画面のロック、**スクリーンセーバー416**などの設定を行います。

プレビュー



背景



画像を選んでください



参照 **ウ**

ロック画面に、Windows と Cortana のトリビアやヒントなどの情報を表示する



ロック画面に詳細な状態を表示するアプリを1つ選択します



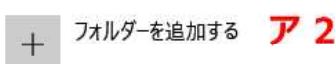
ロック画面に簡易状態を表示するアプリを選ぶ



背景



スライドショーのアルバムを選ぶ



スライドショーの詳細設定 **ア3**

ア. ロック画面で画像を表示する方法を指定します。

・画像 画像ファイルを指定して、固定の画像を表示します。

・Windows スポットライト 自動的にダウンロードされた背景画像を、ランダムに表示します。

・スライドショー

イ. アで「画像」を選択した時、固定表示する画像を指定します。

ウ. アで「画像」を選択した時、任意の画像を表示する場合は、<参照>をクリックして、画像ファイルを指定します。

エ. ロック画面で、ランダムにメッセージを表示するかどうかを設定します。

オ. ロック画面に追加表示するアプリケーションを選びます。

カ. 選択できるアプリケーション
普通は、「カレンダー」か「天気」を指定します。

ア. で「スライドショー」を指定した場合は、表示する画像ファイルを保全したフォルダーを指定します。

ア1. ピクチャーフォルダー

ア2. 任意のフォルダーを追加することができます。

ア3. さらに詳細な設定ができます。



⑥更新とセキュリティ

このカテゴリーは、お使いのコンピュータの安全性に関する重要な項目を含んでいます。特に、Windowsを最新の状態に保つことと、インターネットやメールなどを通じた外部からの脅威を防ぐことは重要です。

Windows Update

Windowsを最新の状態にするためのアップデートを行います。(通常は、自動でアップデートされるので、この機能を利用する必要はありません。何らかの理由で、自動アップデートが行われなくなった時に利用します。)

Windows Update



最新の状態です

最終チェック日時: 2020/07/16、20:13

更新プログラムのチェック

ア

ア. このボタンをクリックすると、最新の更新プログラムがあるかを、マイクロソフトの[サイト³⁹⁵](https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/395)に問い合わせます。

Windows 10、バージョン 1909 の機能更新プログラム

イ

次のバージョンの Windows が利用可能になりました。これには新しい機能とセキュリティ強化が含まれています。更新の準備ができたら、[ダウンロードしてインストール] を選択してください。

[ダウンロードしてインストール](#)

イ. 最新の更新プログラムがある場合は、ここにその情報が表示されます。時間がある場合は、<ダウンロードしてインストール>をクリックして下さい。



更新を 7 日間一時停止

[詳細オプション] に移動して、一時停止期間を変更します



アクティブ時間の変更

現在は 8:00 から 17:00 まで



更新の履歴を表示する

デバイスにインストールされている更新プログラムを表示する

注意：一旦インストールを開始したら、中断すると問題が起る原因となります。中断しないで下さい。



詳細オプション

追加の更新コントロールと設定

ウ

ウ. アップデートに関する詳細な設定画面を開きます。

詳細オプション

更新プログラムのオプション

Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る

オン

従量制課金接続を使って更新プログラムをダウンロードする (追加料金がかかる場合があります)

オフ

更新プログラムをインストールするために再起動が必要な場合は、できるだけすぐにこのデバイスを再起動してください。再起動の前に通知が表示されます。デバイスがコンセントに接続されていて電源が入っている必要があります。

オフ

Windows本体の更新だけでなく、Office製品などマイクロソフトの製品を、同時に更新するかどうかを設定します。

通常オフに設定します。

更新のためにWindowsの再起動が必要な場合、通知を表示する場合にオンにします。

上記の他にも、細かい設定項目がありますが、通常は標準設定で運用します。

Windows セキュリティ

Windowsのセキュリティ状態を確認し、必要に応じてセキュリティ対策436を実行することができます。

Windows セキュリティ

Windows セキュリティは、デバイスのセキュリティと正常性を表示し、管理するためのホームです。

Windows セキュリティを開く

保護の領域

-  ウイルスと脅威の防止
処置をお勧めします。 **ア**
-  アカウントの保護
処置をお勧めします。
-  ファイアウォールとネットワーク保護
処置は不要です。 **イ**
-  アプリとブラウザの制御
処置は不要です。
-  デバイス セキュリティ
処置は不要です。
-  デバイスのパフォーマンスと正常性
デバイスの状態を報告します。
-  ファミリー オプション
家族がデバイスをどのように使用するかを管理します。

セキュリティの設定は、学校のコンピュータの場合、ほとんどの設定が初期状態で完了しているのが普通ですから、改めて設定を行うことはないと思いますが、左図の2点に注意して下さい。

ア. ウィルスと脅威の防止

Windows10が標準で備えているアンチウイルス機能317に関する設定と対処を行います。

イ. ファイアウォール548とネットワークの保護

インターネット接続に関する安全性の確保についての設定を行います。

ウィルスと脅威の防止

Windows10には、標準でウィルスなどの脅威に対処する機能が備わっていますが、十分な機能を持つとは言えないので、市販のウィルス対策ソフトを導入するのが一般的です。多くの学校では、ネットワーク型のウィルス対策ソフトがインストールされています。

ウイルスと脅威の防止

脅威からデバイスを保護します。

現在の脅威

現在の脅威はありません。
最後に実行したスキャン: 2020/08/08 17:01 (クイック スキャン)
0 個の脅威が見つかりました。
スキャンの継続時間 5 分 2 秒
45274 ファイルがスキャンされました。

クイック スキャン **ア**

スキャンのオプション

許可された脅威

保護の履歴

ウイルスと脅威の防止の設定

操作は不要です。

設定の管理

ウイルスと脅威の防止の更新

セキュリティ インテリジェンスは最新の状態です。

前回の更新: 2020/08/07 14:39

更新プログラムのチェック **イ**

ア. 「クイックスキャン」を実行すると、重要性の高いデータについて、リアルタイムでスキャンを実行します。特に気になる場合に実行して下さい。

「スキャンのオプション」で、スキャン方法を変更できます。

イ. 「更新プログラムのチェック」をクリックすると、マイクロソフトのサイトに接続して、最新のウィルススキャン用プログラムがあればダウンロードして更新します。

通常は自動でダウンロードされますが、「前回の更新」の日付が、古くて、更新が実行された様子がない場合に、クリックして最新の状態にして下さい。

ファイアウォールとネットワーク

(1) ファイアウォールとネットワーク保護

ネットワークにアクセスできるユーザーや機能を指定します。

ドメイン ネットワーク

ファイアウォールは有効です。

プライベート ネットワーク

ファイアウォールは有効です。

パブリック ネットワーク (アクティブ)

ファイアウォールは有効です。

ファイアウォールによるアプリケーションの許可

ネットワークとインターネットのトラブルシューティング ツール

ファイアウォール通知の設定

詳細設定

ファイアウォールを既定値に復元する

Window
ファイアウ:

質問があ
ヘルプをま

現在の係
プロバイダ

Window
カ
フィードバ:

プライバシー

Window
を表示お
プライバシー
プライバシー
プライバシー

ファイアウォール⁵⁴⁸とは、「防火壁」を意味し、ネットワークを介してお使いのコンピュータへの不正アクセスを、ブロックするための仕組みのことです。

Windows10には、標準でこの機能が備わっており、お使いのコンピュータが守られているのですが、時には、ご使用のアプリケーションがインターネットに接続しようとした時、正しく動作しない等の弊害を起こす場合があります。

ア. 「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」は、上記の弊害が生じた時、そのアプリケーションにインターネットとの接続を許可を与えることで、問題が解消する場合があります。(説明は次ページ)

注意：インターネットへの接続に問題がある場合の原因は、他にも様々な要因が考えられます。問題が生じた時は、ネットワーク管理者に相談して下さい。

以下の操作は上級者向けです。

参考：「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」では、アプリケーションに対するファイアウォールの設定を、個別に追加・変更します。個別の変更は、場合によっては、今まで正常に動作していたアプリケーションが、変更によって動作しなくなる場合もあり、危険な操作と言えます。

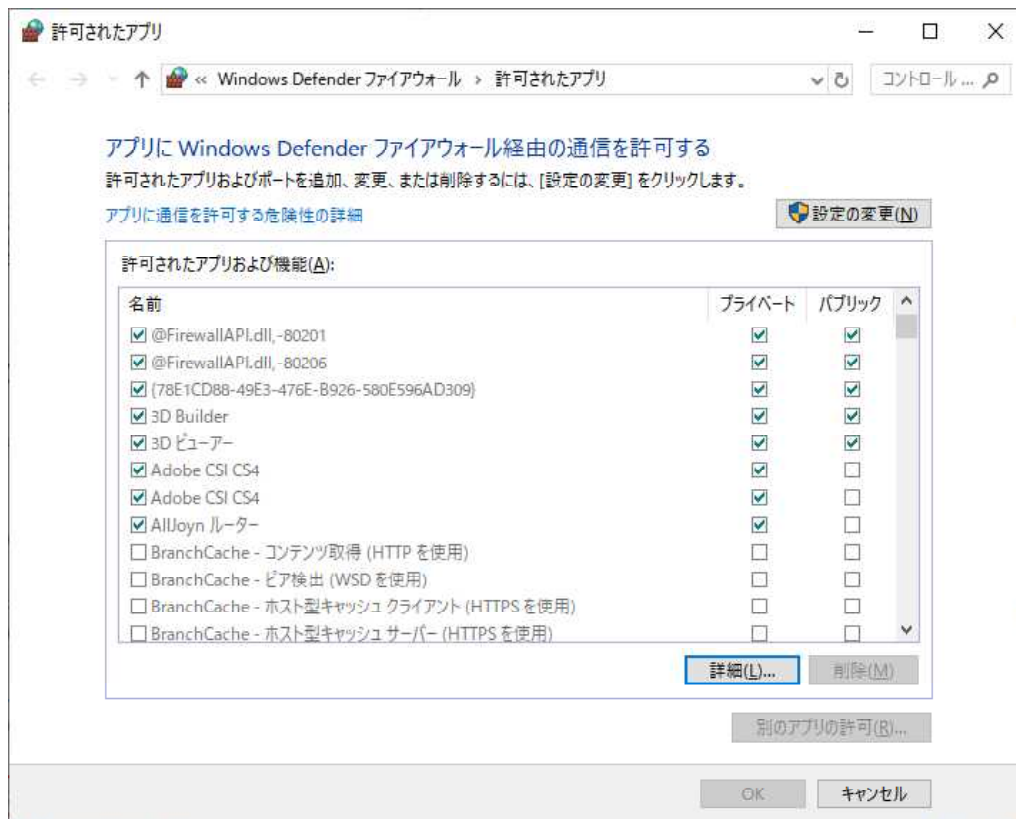
一般的には、ファイアウォールの設定がまだ行われていない状態のアプリケーションから、インターネットに接続する動作が行われると、次のダイアログが表示され、接続を許可するかどうかの確認があります。



この時、「アクセスを許可する」をクリックすると、自動的にファイアウォールの設定が「接続許可」となり、以降は確認無く、インターネットに接続されるようになります。

ファイアウォールの仕組みをあまり理解していない場合は、次ページで説明する「許可されたアプリの一覧」画面での設定変更は行わない方が安全でしょう。

許可されたアプリの一覧



上記アをクリックすると、左のダイアログが表示されます。

一覧から、問題のあるアプリケーションを探して選択し、<設定の変更>をクリックして、設定変更を行いますが、**不用意に変更すると、お使いのコンピュータの「不正アクセスの脅威」が高まる**ことがあるので、**学校の情報担当者に相談することを推奨**します。

バックアップ

Windows標準のバックアップ機能です。個別のバックアップではなく、スケジュールによるバックアップを行います。バックアップデータが作成されると、「**ファイル履歴からの復元**」だけでなく、「**以前のバージョンによる復元**」も利用できるようになります。(詳細は発展で説明します。)

回復

Windowsの動作に問題が生じたとき、正常に動作した時の状態に戻すことができます。この機能は、安全性を十分に確認した上で実行しなければなりません。従って、このような状況になった時は、学校の情報担当者に相談する事が重要です。(詳細は発展で説明します。)

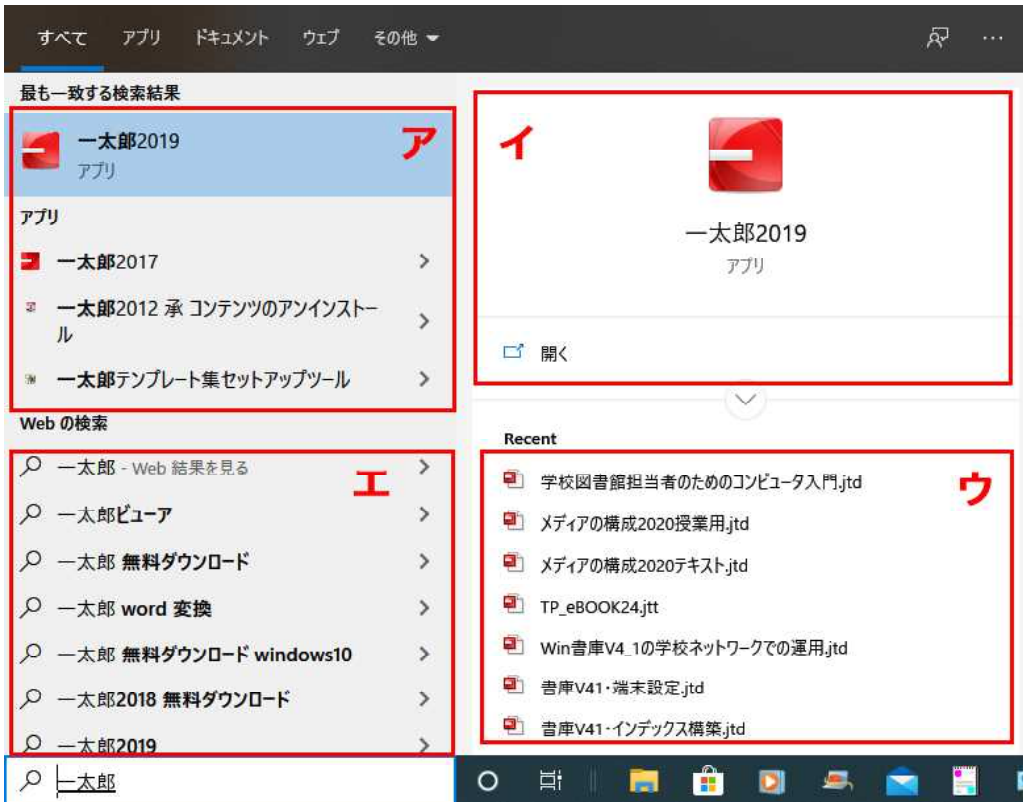
まとめ：Windows Update と Windowsセキュリティは、お使いのWindowsの安全性を高める上で、大変重要な機能ですから、最低限「標準の設定の状態」で運用して下さい。標準設定でも、ある程度の安全性が保証されます。

B. 検索ボックスと音声検索

(デスクトップ最下部)



アプリケーションを探したりWindowsの操作や機能を調べたりします。Windows10では、Cortanaという検索エンジンが検索を行います。検索語入力欄の右にある<○>ボタン(コンタナに話しかける)をクリックすると、音声入力で質問できます。



左の画面では、「一太郎」で検索した結果です。

ア欄には、インストールされている関連のアプリケーション一覧が表示されます。

イ欄には、代表的なアプリケーションの起動ボタン、**ウ**欄にはその関連文書のリストが表示されます。

エ欄には、Web(インターネット)で検索した結果が表示されます。

参考：「ここに入力して検索」欄に、Windowsの基本設定のアプリケーション名などを入力する事で、簡単にアプリケーションやWindowsの機能を呼び出すことができます。

- | | |
|----------------|------------------------|
| cont | コントロールパネル |
| windows update | ウィンドウズアップデート |
| settings:about | バージョン情報 |
| winver | // |
| calc | 計算機(電卓) |
| notepad | メモ帳(ワードパッド) |
| cmd | コマンドプロンプト382 (DOS窓115) |
| fonts | フォント設定 |
| printers | プリンター設定 |
| desk | ディスプレイ |
| msinfo32 | コンピュータのシステム情報 |
| timedate.cpl | 日付と時刻 |
| utilman | デバイスの設定 |
| charmap | 文字コード表 |
| osk | スクリーンキーボード |
| magnify | 拡大鏡 |

C. タスクビュー

(デスクトップ最下部)

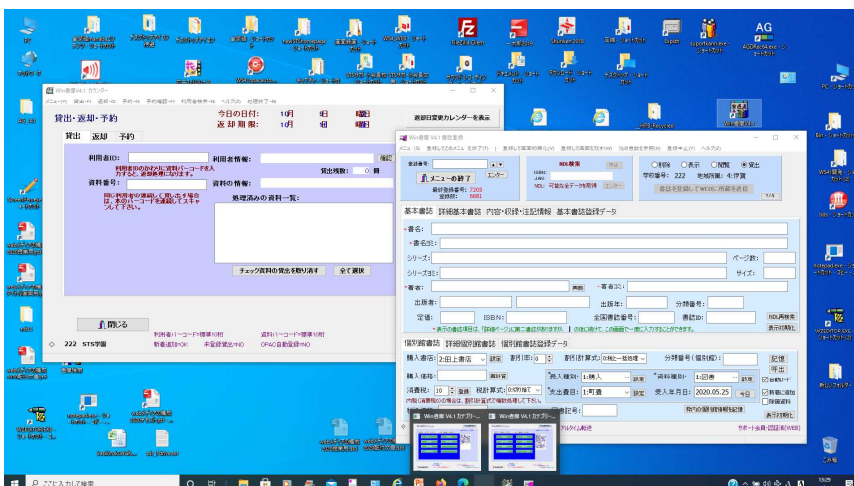


「仮想デスクトップ」を追加したり切り替えたりします。仮想デスクトップを使うと、複数のアプリケーションを開いて作業する時、1つのデスクトップで起動すると、画面が狭くなってしまう場合などに活用します。



- ア 現在起動している仮想デスクトップの一覧
- イ 現在選択されているデスクトップ
- ウ 仮想デスクトップを追加する時は、ここをクリックします。

参考：Win書庫V4.1（R4.1070以降のバージョン）では、Win書庫のスタートメニューを複数起動できるようになりました。これにより、1つ目の {スタートメニュー} から {書誌登録} を起動し、2つ目の {スタートメニュー} から {カウンター} を起動して、同時に2つのメニューの運用を行うことができます。(3つ以上のメニューを起動することも可能)

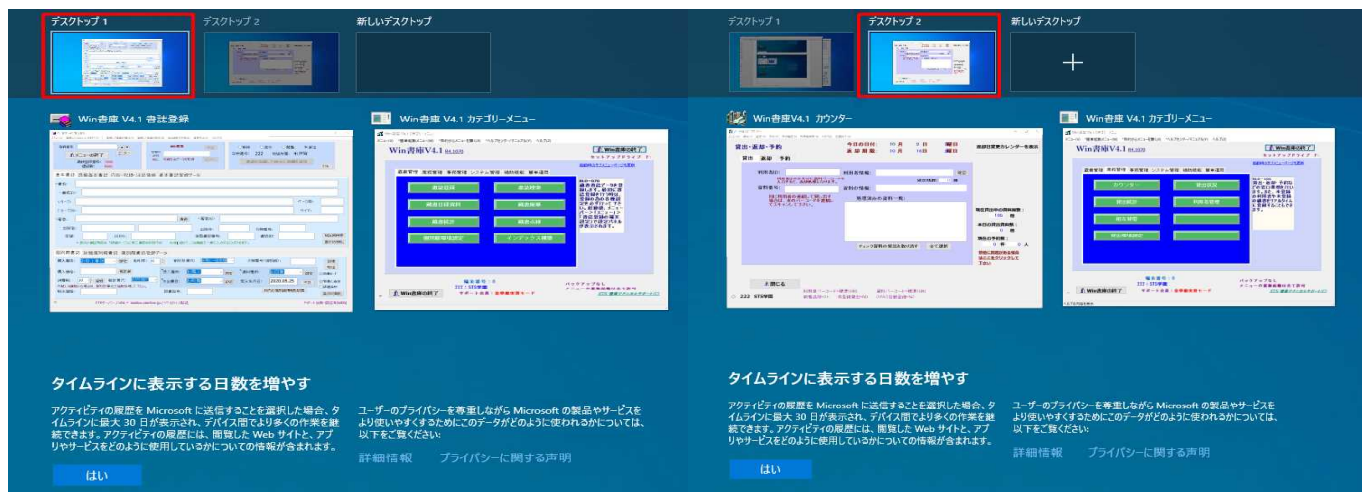


左の画面では、Win書庫の {スタートメニュー} が2つ起動されており、一方からは {カウンター} が、他方からは {書誌登録} が起動されています。このように、1つのデスクトップでも、複数のWin書庫を起動することができますが、モニターTVの画面が小さい場合は、メニューが重なって操作しにくくなる場合があります。

デスクトップ画面が狭くなる場合、仮想デスクトップを利用すると、画面を広く使用できます。

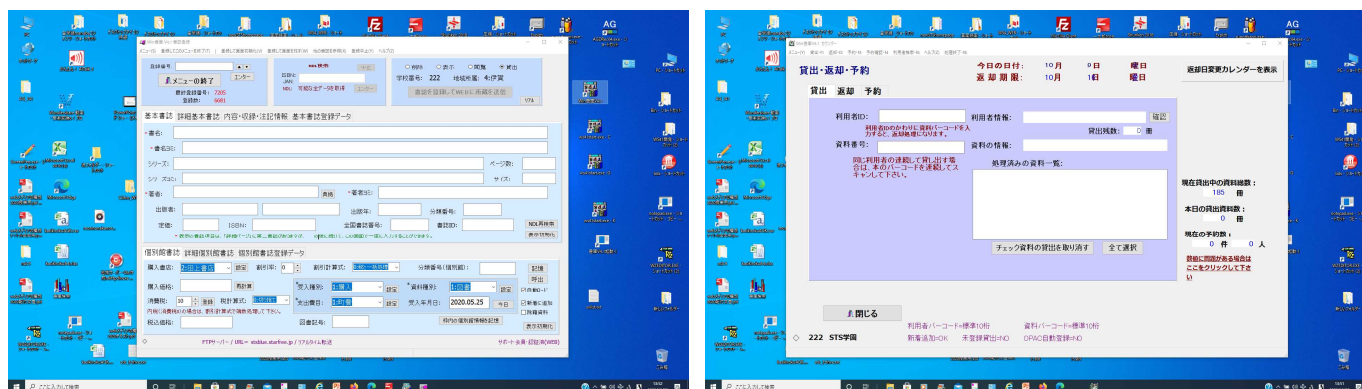
デスクトップ1の一覧画面

デスクトップ2の一覧画面



デスクトップ1

デスクトップ2



デスクトップ1で {書誌登録} を起動

デスクトップ2で {カウンター} を起動

仮想デスクトップを切り替えるには、次のショートカットを利用すると便利です。

- Crtl + Windowsキー + → 仮想デスクトップを1つ送る
- Crtl + Windowsキー + ← 仮想デスクトップを1つ戻す

(左指で [Ctrlキー] と [Windowsキー] を押しながら、右指で [矢印キー] を押す)

[戻る](#)

D. タスクバーへのピン留め

(デスクトップ最下部)

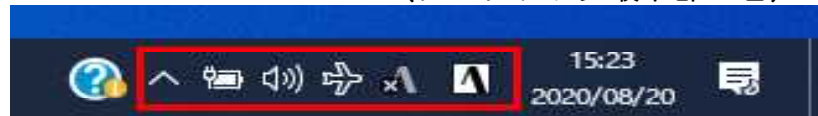


よく使うアプリケーションやフォルダーをここに表示させておくと、マウスクリックで、簡単に起動できるようになります。

- ピン留めに追加する
ピン留めしたい項目のアイコンを、マウス右クリックメニューから「タスクバーにピン留めする」を実行します。
- ピン留めから削除
ピン留めされている項目を、マウス右クリックメニューから「タスクバーからピン留めを外す」を実行します。

E. 通知領域 (ネットワーク・音声・日本語入力など)

(デスクトップ最下部・右)



Windowsのシステムプログラムの動作状況を表示します。

- ・電源
ノートコンピュータの場合、充電状況を表示します。また、右クリックメニューから、「電源オプション」を表示し、電源にかかわる各所設定を行います。
- ・スピーカー
マウス右クリックで、スピーカーの音量やミュートを設定します。また右クリックメニューから、サウンドに関する各種設定を行います。
- ・ネットワーク
ネットワークの設定や接続状態、異常をアイコンで通知します。変更したり、問題がある場合は、アイコンを「左クリック」または「右クリック」して設定メニューを開きます。
- ・日本語入力
日本語入力モードを変更したり、日本語入力システム (IME) の切り替えを行います。
- ・隠れているインジケータ (A)



複数の機能アイコンが隠されていますが、良く使うアイコンは、「リムーバブルメディアを取り外す」です。

USBメモリーや外部接続ハードディスクを取り外す時には、必ずこのアイコンをクリックして、対象のメディアを選択して「取り外し」を実行する必要があります。

注意：上記操作を実行しないで、メディアを取り外すと、データが破損する場合がありますので、必ず手順を実行してから取り外して下さい。

F. 日付と時刻

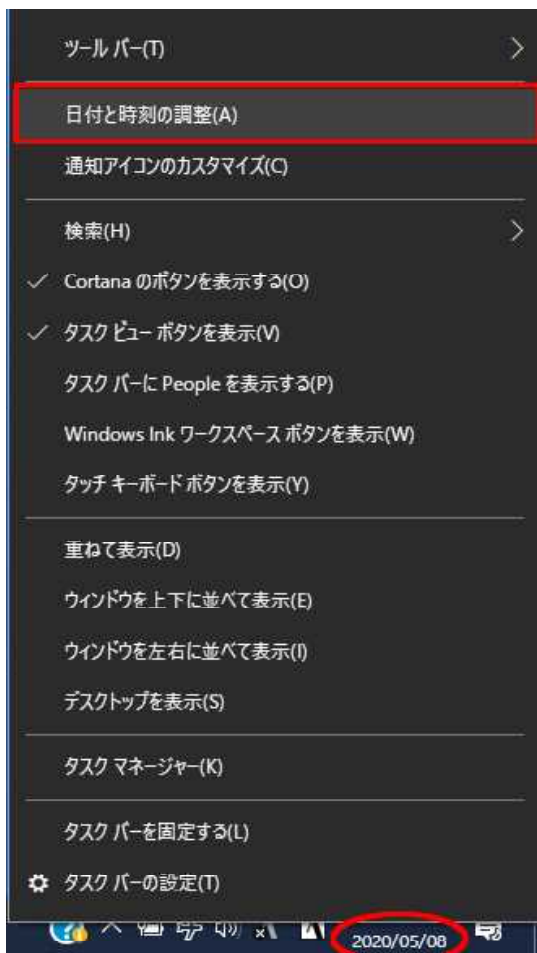
(デスクトップ最下部・右)



コンピュータの内部時計を管理します。一般的に、学校などで、校内LANに接続して使用するコンピュータは、コンピュータの内部時計は、校内のサーバーの時計に同期するように設定されています。サーバーに同期する設定になっておらず、時刻がずれたりする場合は、「日付と時刻」をマウス右クリックして表示されるメニューから「日付と時刻の調整」を開いて、「時刻を自動的に設定する」を「オン」にします。(オンにすると、コンピュータの内部時計の時刻を、「タイムサーバー443」の時刻に同期します。)



参考：アナログ時計を表示するには、「ここに入力して検索」欄に「timedate.cpl」と入力してエンターキーを押して下さい。



日付と時刻

現在の日付と時刻

2020年5月8日、16:19

時刻を自動的に設定する



タイムゾーンを自動的に設定する



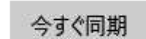
日付と時刻を手動で設定する



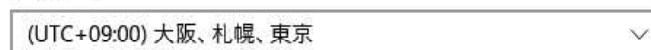
時刻を同期する

前回成功した時刻の同期:2020/05/08 16:19:21

タイムサーバー: time.windows.com



タイムゾーン



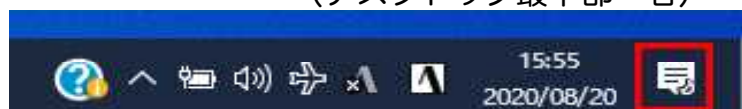
夏時間に合わせて自動的に調整する



[戻る](#)

G. アクションセンター

(デスクトップ最下部・右)

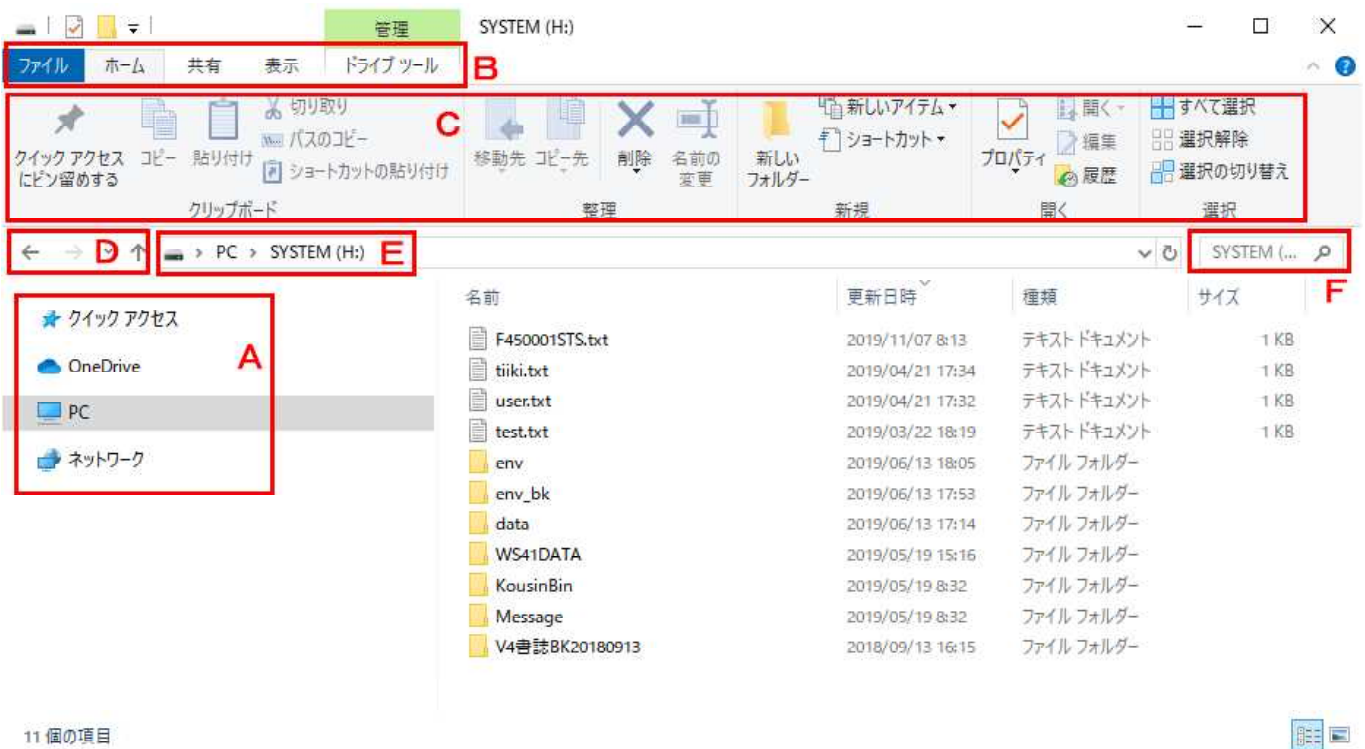


アクションセンターは、Windowsの警告を一元的に確認して対処する機能を提供します。タスクバーの右端のアイコンをクリックすると、アクションセンターが開き、注意が必要なセキュリティとメンテナンスの設定に関する重要なメッセージが表示されます。**赤くなっている項目は重要であり、更新が必要なウイルス対策プログラムなど、直ちに対処する必要がある重大な問題を表します。**また、**黄色の項目は、推奨されるメンテナンス作業**などを表します。アイコンを再度クリックすると、アクションセンターが閉じます。

1-3 ファイルやフォルダーの操作

図書管理ソフトを利用する限りは、ファイルやフォルダーを、直性操作することはありません。むしろ、ファイルやフォルダーを直接操作することは、トラブルの原因となる場合が多く、避けるべきと考えます。しかし、矛盾するようですが、ファイルやフォルダーを直接操作することで、簡単に対処できる場合もあります。**重要なポイントは、操作しようとする内容を、しっかり理解できているかどうかです。よく分かっていないのに、ファイルを削除したり移動させると、重大な問題を引き起こすかも知れないのです。**

<PCからドライブを開いた状態>



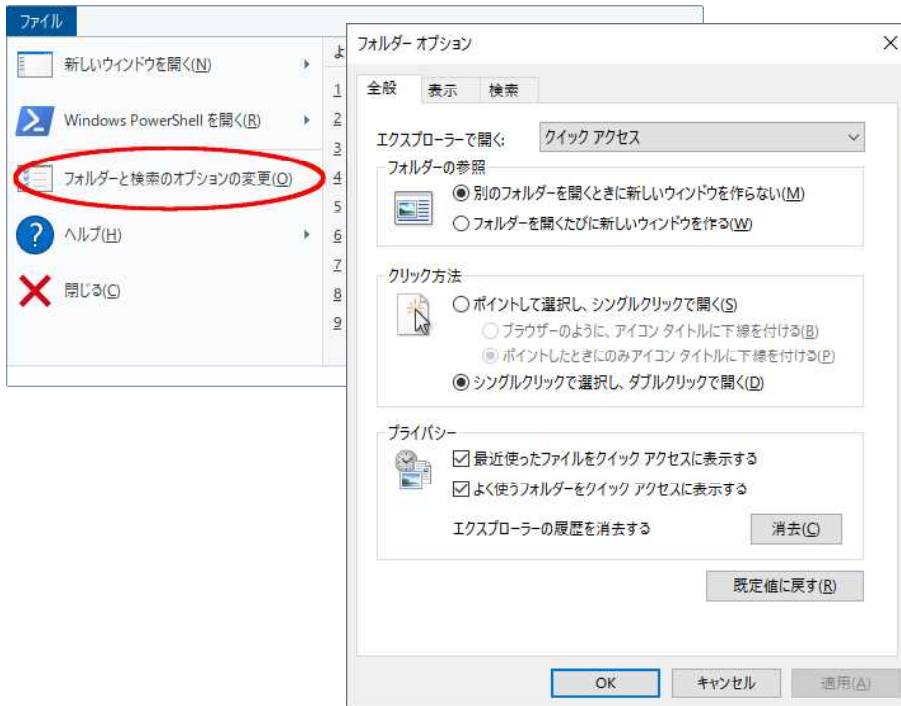
A. ドライブ操作 このコンピュータが利用できるドライブやフォルダーを一覧で表示します。(表示をクリックすると「展開」され、再度クリックすると「縮小」されます。)

- ・ クイックアクセス
このコンピュータの良く使う場所の一覧を表示
- ・ OneDrive
マイクロソフトの無料のクラウドドライブ(マイクロソフトアカウントが必要)
- ・ PC
このコンピュータのドライブ一覧を表示
- ・ ネットワーク
このコンピュータに接続されている他のコンピュータやネットワークドライブなどを一覧

戻る

B. ツールバータブ ツールバーに表示する項目を指定します。
C. ツールバー ツールバータブで選択した項目をリボンに表示します。

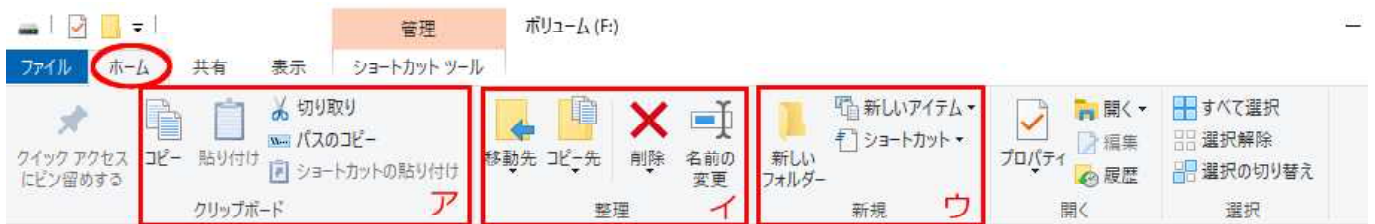
- ・ ファイル
ウィンドウの表示やフォルダーオプションなど、以前のバージョンとの互換性に配慮した設定などを行います。(通常は使用しません。)



- ・全般 ウィンドウの表示やマウス動作などを指定します。
- ・表示 ファイルやフォルダーの表示を設定します。ツールバータブの「表示」タブで行う設定を、より詳細に指定できます。
- ・検索 コンピュータ内のフォルダーやファイルを検索する時の設定を行います。ウィンドウのF「検索」で行う設定と同じ内容です。

・ホーム

ファイルやフォルダーのコピーや削除などの操作を行います。ホームでの操作は、全て「マウス右クリック」で表示されるメニューで実行できます。



ア. クリップボード³⁷⁴を介した操作を行います。

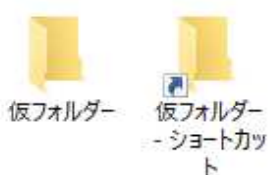
※クリップボード： フォルダーやファイルを、一時的にコピーしておく特別な場所のことです。

イ. クリップボードを介さずに、フォルダーやファイルを、「移動」「コピー」「削除」を行います。削除した場合は、「ごみ箱」に保存されます。

ウ. 新しいフォルダーやショートカット⁴¹¹を作成します。

※ショートカット： フォルダーやファイルの保存場所のみをアイコン化したもので、実際のデータではありません。(ショートカットを削除しても、そのショートカットが指定するフォルダーやファイルに変化はありません。)

参考：ショートカットアイコンには、アイコンの左下に→マークが付いているので、フォルダーやファイルの実態アイコンと区別できます。左のアイコン画像は、実体の「仮フォルダー」アイコンと、ショートカットの「仮フォルダー」アイコンを比較したものです。フォルダーやファイルの実体を削除しようとして、ショートカットだけを削除している場合や、ショートカットを削除しようとして、実体を削除してしまうなどの間違いを起こさないように注意して下さい。(特に後者の名違いは致命的です。)



・共有

選択したフォルダーやファイルを、「送信」・「共有」します。



送信：各種デバイスにデータを送信して処理します。
共有：ネットワークを介して、他のコンピュータとの共有を設定します。

ア. 選択したデータを、どのデバイスに送信するかを指定します。
(Zip30は、圧縮ソフト645を使って、データを圧縮します。)

イ. 選択したフォルダーやファイルを、共有する相手（ユーザー）を選択します。

ウ. 選択したフォルダーやファイルの共有を解除します。

エ. 選択したフォルダーやファイルの「セキュリティ情報」を表示します。



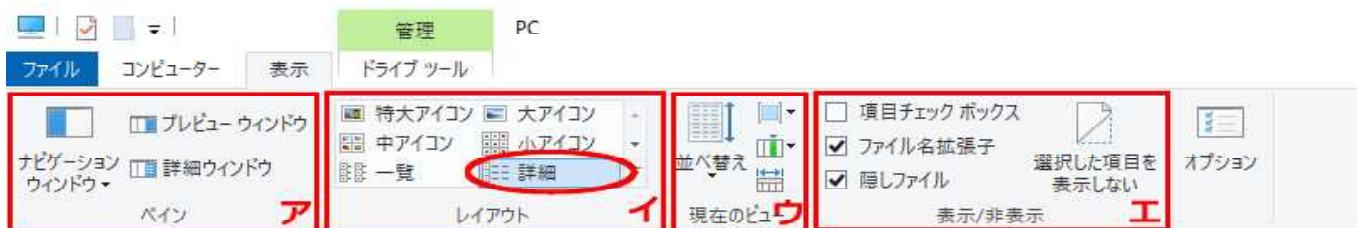
「セキュリティ情報」では、対象のフォルダーやファイルにどのような形でアクセスできるか設定できます。

注意：

通常使用するWindows（7・8・10など）で共有を設定してネットワークでアクセスする場合は、接続数が増えると、急激にアクセス速度が遅くなるので、実用可能な接続台数は、数台が限度です。Win書庫の多端末運用などのような本格的な共有運用を行うには、「WindowsサーバーOS」が必要です。

セキュリティの設定は、「共有」だけでなく、通常のフォルダーやファイルに対しても設定できます。フォルダーやファイルへのセキュリティの設定は、後述する「プロパティ574」で説明します。

- ・表示 画面上のフォルダーやファイルの表示方法を指定します。



- ア. ウィンドウ全体の表示構成を設定します。(通常は、プレビューウィンドウと詳細ウィンドウは表示しないで使用します。)
- イ. 表示するアイコンの形式を設定します。アイコンだけでは、詳細な情報が分からないので、日付やサイズが分かる「詳細」を推奨します。
- ウ. 表示する一覧の並べ替えを行います。(「詳細」表示の場合は、項目名をクリックすることで並べ替えが行えます。)
- エ. 一覧から、複数項目の指定を簡単に行うには、「項目チェックボックス」を表示させると便利です。
 「ファイル名拡張子」にチェックを付けると、「拡張子662」が表示されます。「拡張子」は、そのファイルがどのようなファイルであるかを知る重要な手懸かりとなります。
 「隠しファイル659」にチェックを付けると、通常は表示されない「隠しファイル」を表示することができます。通常は、隠しファイルを表示する必要はありません。

- ・ドライブツール 選択したドライブに対する操作を指定します。このメニューは、フォーマットなど危険を伴う操作が含まれるので、実行には注意が必要です。

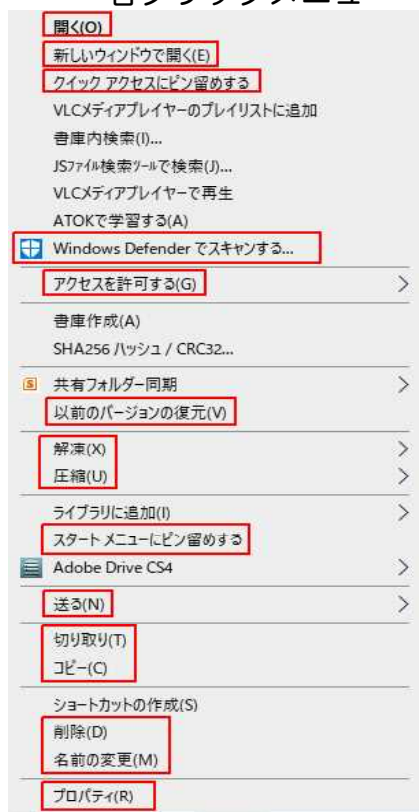


- 最適化： ハードディスクに記録されたデータが「不連続に分散された状態」を、「連続した状態」に再構成します。最初に「分析」が行われるので、「最適化」が必要な場合に実行して下さい。データへのアクセスが改善される場合があります。
- クリーンアップ： ハードディスクに残存する「不要なファイル」を整理して削除します。この操作で、若干のディスク容量残の増加が見込めますが、「ハードディスクの容量不足の警告」が出る場合は、もっと根本的に不要なファイルを削除する対処が必要です。
- フォーマット553： 文字通り「ハードディスクをフォーマット」します。フォーマットすると、対象のドライブのデータは全て削除されるので、注意が必要です。

※通常、運用中のドライブを「フォーマット」することは、よほどのことがない限りありません。

参考：ここまでで説明した「リボンでの操作」は、対象のフォルダーやファイルを「マウス右クリック」で表示されるメニューで、ほとんどの場合操作できます。
 (□で囲んだメニューは使用頻度の高いメニューです。)

フォルダーの 右クリックメニュー



データファイルの 右クリックメニュー



アプリケーションの 右クリックメニュー



※表示されるメニューは、インストールされているアプリケーションにより異なります。

◆マウス右クリックメニューの動作

[戻る](#)

* 開く フォルダーやファイルを開きます。(ダブルクリックと同じ)

新しいウィンドウで開く

既に開かれた状態で、別ウィンドウで開きます。(二重に開く)

* クイックアクセスにピン留めする

フォルダーやファイルを、ウィンドウの左パネルの「クイックアクセス」のリストに追加し、アクセスしやすくします。

* Windows Defenderでスキャンする

Windows標準のセキュリティスキャンで、対象のフォルダーやファイルをスキャンし、安全性を確認します。

アクセスを許可する

フォルダーやファイルに「共有」を設定します。

* 以前のバージョンの復元

「以前のバージョン」を利用して、フォルダーやファイルを復元します。(説明は、「2-4 以前のバージョン」をご覧ください。)

解凍

圧縮されたファイルを、解凍場所を指定して展開します。

圧縮

圧縮形式⁶⁴⁵を指定して、ファイルを圧縮します。(指定できる圧縮形式は、インストールされている解凍ソフト⁶⁵⁶により異なります。(ZIP形式については、Windows標準でサポートされています。)

スタートメニューにピン留めする

フォルダーやファイルを、スタートボタンをクリックして表示される「スタートメニュー」のリストに追加し、アクセスしやすくします。

*送る

選択したフォルダーやファイルを、指定した場所にコピーしたり、アプリケーション等を起動して処理します。
※デスクトップにショートカットを作成する時にも使用します。

*切り取り

*コピー

選択したフォルダーを、切り取ったりコピーします。(その後、「貼り付け」をセットで使用する場合はほとんどです。)

*削除

フォルダーやファイルを「ごみ箱」に移動させます。ごみ箱に移動したものは、「ごみ箱を空にする」を実行するまでは、位置でも元の場所に戻すことができます。

名前の変更

フォルダーやファイルの名前を変更します。

*プロパティ

選択したフォルダーやファイルの「設定や状態、属性などの情報」を表示・変更します。プロパティ⁵⁷⁴の説明は、この後に別項目として詳しく記述します。

共有

共有手順と相手を指定して、選択したデータを共有します。
(メールやBlueTooth⁷²、OneDrive²¹⁶ など)

管理者として実行

管理権限⁶⁷⁸が無いと実行できないアプリケーションを、一時的に管理権限で実行します。この方法で無いと起動や操作できないアプリケーションは、システムに危険な変更を加える可能性があります。無意識のうちに、システムに問題を起こさないように十分な注意が必要です。

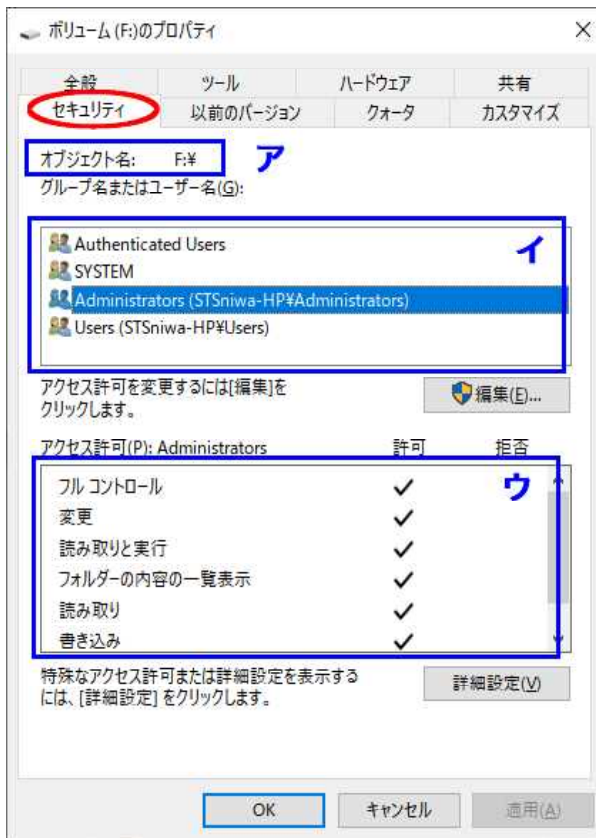
◆マウス右クリックメニューの「プロパティ」について

(設定や状態、属性などの情報)

[戻る](#)

マウス右クリックメニューの「プロパティ」からは、主に次の操作を行うことができます。

- ・セキュリティ フォルダーやファイルの「アクセス権限²⁹⁸」に関する状態を表示・設定します。(設定を変更すると、アプリケーションが正常に動作しなくなる恐れがあります。この機能を理解した上で操作して下さい。)



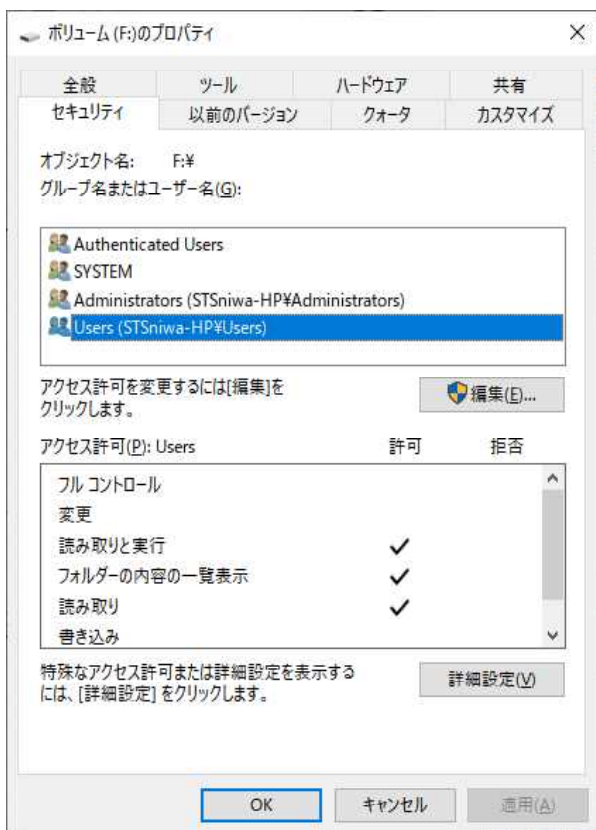
ア. このプロパティの対象となるオブジェクト（フォルダーやファイル）

イ. このオブジェクトを対象とするユーザーやグループの一覧が表示されます。

ウ. イ. で選択したユーザーやグループに対する「アクセス権限」が表示されます。

この画面では、「Administrators61」というグループに対してのアクセス権限²⁹⁸を表示しています。

表示の権限に対して、「許可」を与えているかどうかを、チェックで示しています。



この画面では、「Users」というグループに対してのアクセス権限を表示しています。

「許可」と「拒否」の両方にチェックが付いている場合は、「拒否」が優先されます。

Administrators 「管理者」のこと

Users 「標準ユーザー」のこと

※Authenticated Users や SYSTEM は、Windowsが管理する特別なグループです。

<フルコントロール>

- フォルダのスキャン/ファイルの実行
- フォルダの一覧/データの読み取り
- 属性の読み取り
- 拡張属性の読み取り
- ファイルの作成/データの書き込み
- フォルダの作成/データの追加
- 属性の書き込み
- 拡張属性の書き込み
- サブフォルダとファイルの削除
- 削除
- アクセス許可の読み取り
- アクセス許可の変更
- 所有権の取得

<変更>

- フォルダのスキャン/ファイルの実行
- フォルダの一覧/データの読み取り
- 属性の読み取り
- 拡張属性の読み取り
- ファイルの作成/データの書き込み
- フォルダの作成/データの追加
- 属性の書き込み
- 拡張属性の書き込み
- サブフォルダとファイルの削除 不可
- 削除
- アクセス許可の読み取り
- アクセス許可の変更 不可
- 所有権の取得 不可

・「フルコントロール」は、全ての操作ができる権限です。

・「変更」は、ほとんどの操作が可能ですが、一部の操作を行うことができません。 ※Win書庫の完全な運用には、この権限が必要です。

<書き込み>

- フォルダのスキャン/ファイルの実行
- フォルダの一覧/データの読み取り
- 属性の読み取り
- 拡張属性の読み取り
- ファイルの作成/データの書き込み
- フォルダの作成/データの追加
- 属性の書き込み
- 拡張属性の書き込み
- サブフォルダとファイルの削除 不可
- 削除 不可
- アクセス許可の読み取り
- アクセス許可の変更 不可
- 所有権の取得 不可

<読み取りと実行>

- フォルダのスキャン/ファイルの実行
- フォルダの一覧/データの読み取り
- 属性の読み取り
- 拡張属性の読み取り
- ファイルの作成/データの書き込み 不可
- フォルダの作成/データの追加 不可
- 属性の書き込み 不可
- 拡張属性の書き込み 不可
- サブフォルダとファイルの削除 不可
- 削除 不可
- アクセス許可の読み取り
- アクセス許可の変更 不可
- 所有権の取得 不可

・「書き込み」は、通常必要な多くの操作が可能ですが、フォルダーやファイルの削除ができません。 ※Win書庫はこの権限でも動作しますが、一部の機能は、正しく動作しません。

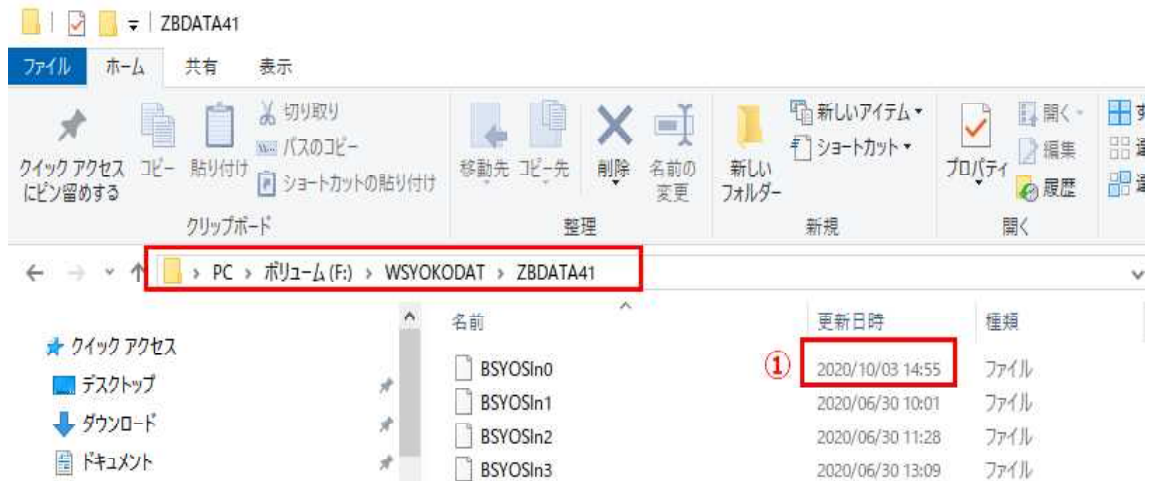
・「読み取りと実行」は、既に存在するデータの読み込みと各種ファイルの実行のみが可能です。 ※Win書庫はこの権限では動作しません。

・以前のバージョン

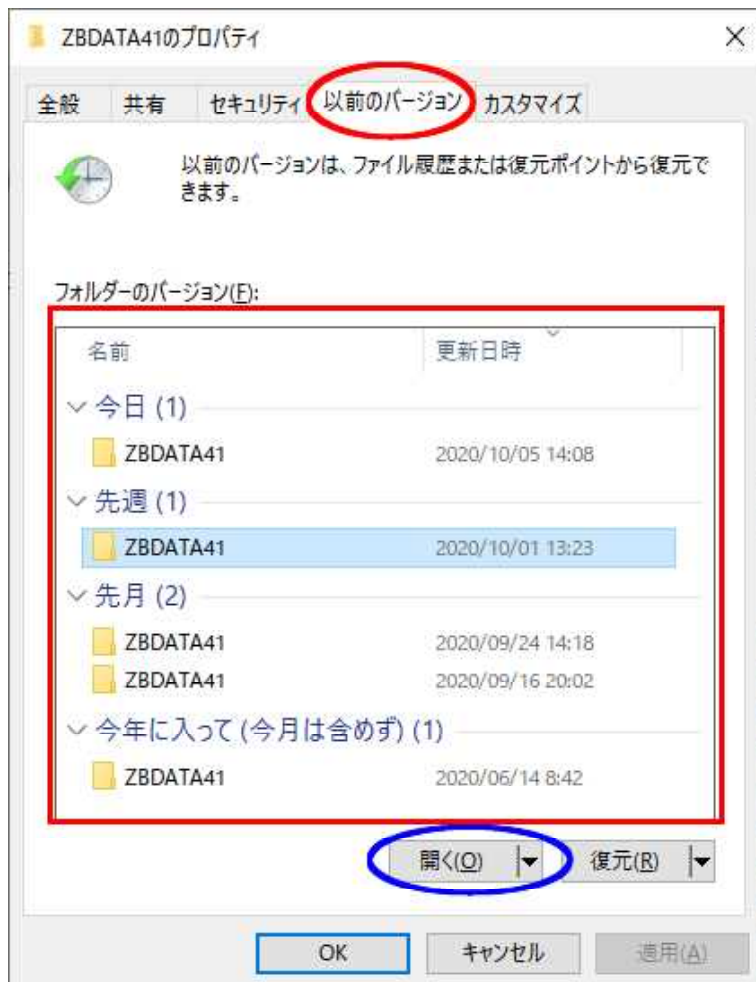
「以前のバージョン⁶⁴⁸」は、Windows7・8・10で利用可能な「ファイルのバックアップと復元」の機能の一つです。「以前のバージョン」を利用するための準備や設定については、発展の「2-4 以前のバージョン」をお読み下さい。

例えば、書庫の基本書誌データを保存しているフォルダー（ZBDATA41）の場合について説明します。

<現在の ZBDATA41 フォルダの内容>



復元したいフォルダーやファイル（この例ではZBDATA41フォルダー）の上で、マウス右クリックしてプロパティを表示します。

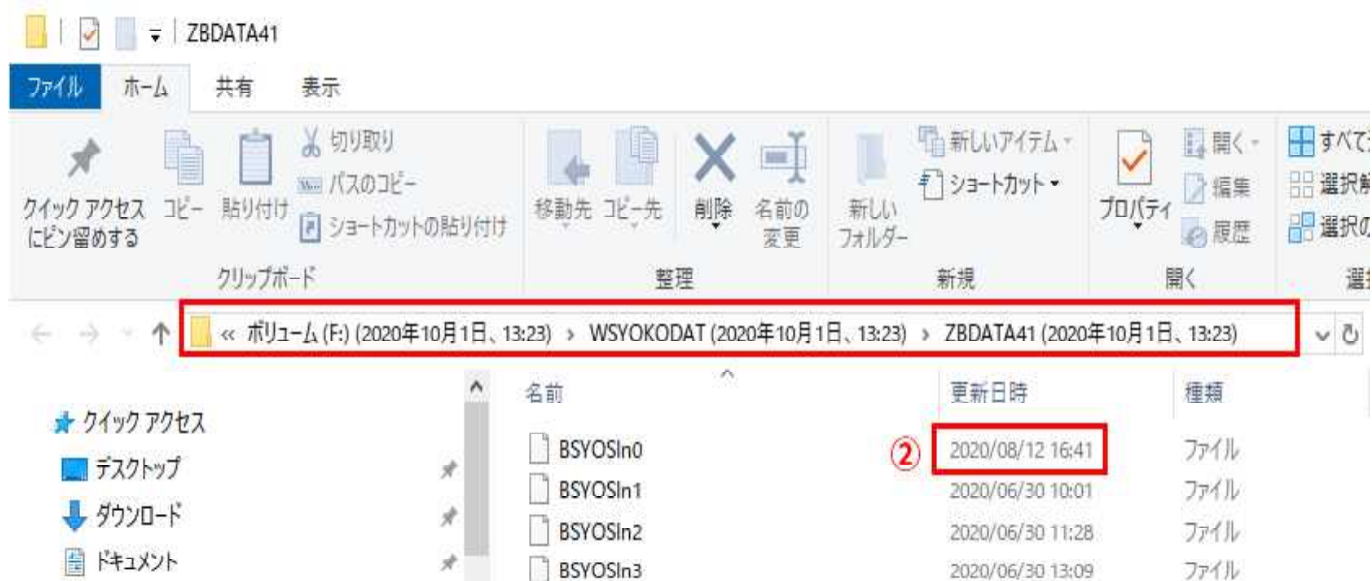


利用できる「以前のバージョン」があれば、プロパティ画面のタブ「以前のバージョン」に左のような表示が出ます。（フォルダーの場合の表示です。ファイルを右クリックしてプロパティを表示すると、画面には復元可能なファイルが表示されます。）

左の画面では、蔵書書誌データの基本書誌データフォルダー(ZBDATA41)の「以前のバージョン」が、複数存在することが分かります。

復元したい日付のデータを選択して「開く」をクリックすると、その日付の日にバックアップされたフォルダー構成が表示されます。

<2020年10月1日の ZBDATA41 フォルダの内容>



前ページに表示された現在のファイル (10/03 14:55 ①) に対して、「以前のバージョン」の同じファイル (8/12 16:41 ②) が、バックアップされている古いファイルであることが分かります。

もし、何らかの理由で「以前のバージョン」のデータを使って復元する必要がある場合は、「以前のバージョンのフォルダ」から、復元したいファイル(フォルダ)をコピーして、「現在のフォルダ」に貼り付ければよいのです。

参考：一般的なバックアップ・復元の機能は、ある時点のデータを「そっくりそのまま元に戻す」ような復元を行います。しかし、「以前のバージョン」では、フォルダやファイルを「エクスプローラー（ファイル一覧の画面）」で、一つ一つ確認して復元することができます。手間はかかりますが、例えば「誤ってファイルを削除してしまい、ごみ箱のデータも消してしまった！」などの場合でも、前回バックアップ時のファイルですが、削除したファイルを復元することができます。

注意：「以前のバージョン」でバックアップデータが作成されるのは次のタイミングです。バックアップされていない場合は、「以前のバージョン」は利用できないので注意して下さい。

<バックアップデータを「復元ポイント755」で作成している場合>

- ・ Windows Updateなどで、システムに変更を加えた場合
- ・ 7日間に1回、コンピュータを起動した後、アイドル状態が10分以上続いた場合
- ・ 「システムの詳細設定/システム保護」で、意図的に復元ポイントを作成する場合

<バックアップデータを「バックアップ」で作成している場合>

- ・ バックアップで設定したスケジュールのタイミングで作成する場合
- ・ 「更新とセキュリティ」の「バックアップ/その他のオプション」で、<今すぐバックアップ>で、意図的にバックアップを作成する場合。

<バックアップデータを「シャドウコピー」で作成している場合>

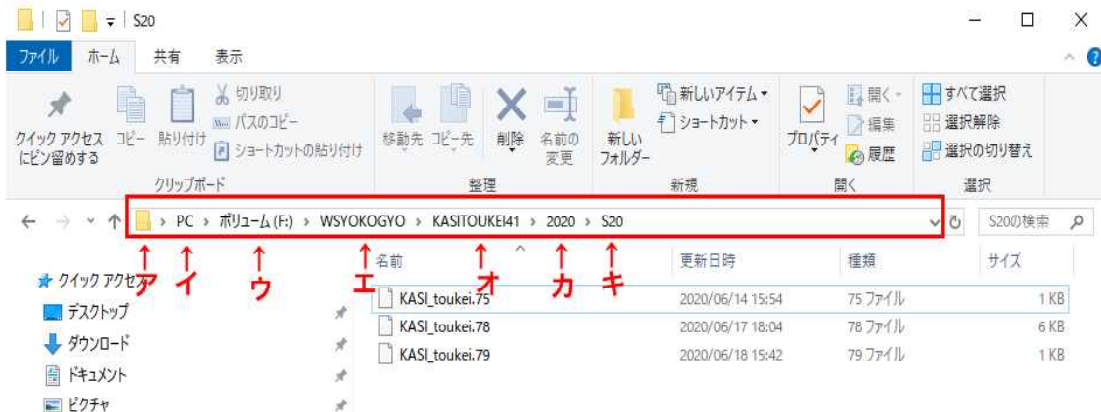
- ・ 「タスクスケジューラ」で設定したスケジュールのタイミングで作成する場合

D. 場所の移動 フォルダの階層を移動するときに使用します。

- ← 履歴を1つ戻る
- 履歴を1つ進む
- √ 最近表示した階層の履歴（履歴から移動）
- ↑ 1階層上に移動

E. 現在の場所を表示 現在表示中のフォルダ階層位置を、システムルートから「パス」で表示します。

※パス522 = フォルダやファイルが存在する場所を示すアドレスにあたる
表記例： F:¥WS41¥Bin



ア. 場所を「パス」形式での表示に変更

イ. (PC) コンピュータ全体 (システムルート405)

ウ. ドライブルート490 // F:

エ. フォルダ階層1 // WSYOKOGYO

オ. フォルダ階層2 // KASITOUKEI41

カ. フォルダ階層3 // 2000

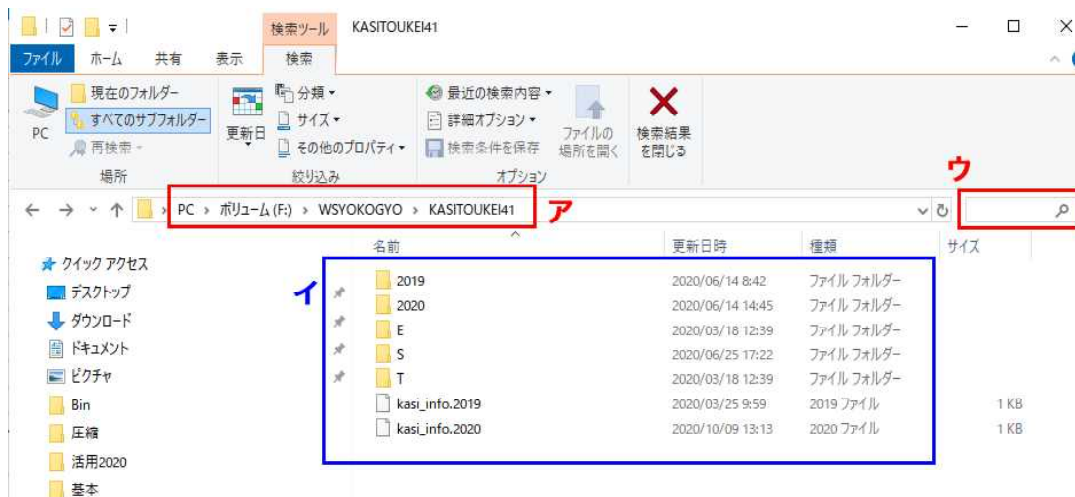
キ. フォルダ階層4 // S20

上記の位置を「パス」で示すと、次のようになります。

F:¥WSYOKOGYO¥KASITOUKEI41¥2000¥S20

F. 検索

現在表示中のフォルダから、指定したフォルダやファイルを探します。



ア. 検索対象のフォルダ

イ. 指定したフォルダにあるサブフォルダやファイル（これらを対象に検索する）

ウ. ここに検索する文字列を入力する

検索結果の表示



エ、「20」で検索を実行（フォルダーやファイルから、「20」が含まれるものを検索します。）

オ．検索結果の一覧

カ．検索結果から、「分類」（対象の種類）や「サイズ」などで、さらに絞り込みを行うことができます。

[戻る](#)

◆フォルダーやファイルのコピーと移動・削除について

<コピーと移動>

- ・マウス右クリックメニュー「コピー」または「切り取り」と「貼り付け」を組み合わせる
- ・マウス左ボタンで「ドラッグ&ドロップ」で実行する

対象をマウス右クリックし、そのまま対象を引きずって「コピー先」または「移動先」で、マウスボタンを離します。

※Windows10では、この操作について次の原則があります。

同一ドライブ間での操作は「移動」となります。
異なるドライブ間では「コピー」となります。

- ・マウス右ボタンで「ドラッグ&ドロップ」で実行する

動作は上記と同じですが、実行前に確認ダイアログが表示されます。



「コピー」や「移動」以外にも様々な操作が行えます。

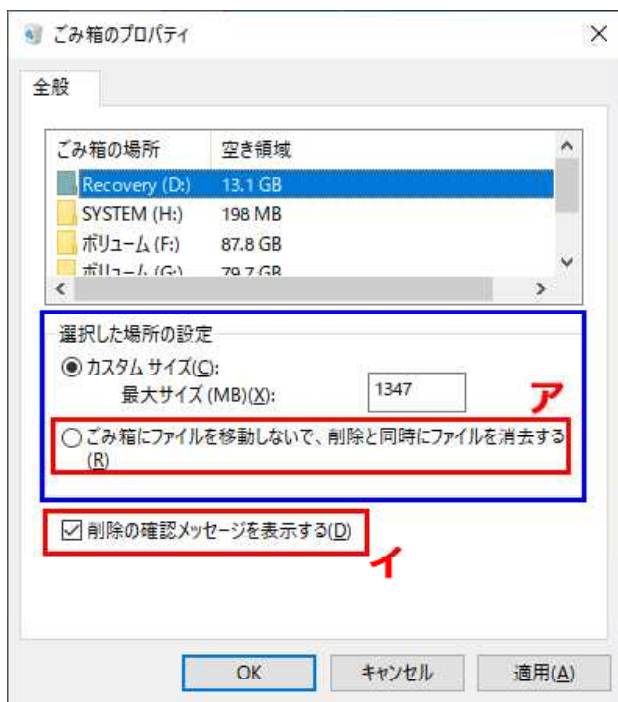
<削除>

- ・ マウス右クリックから「削除」を選択 → 「ごみ箱」に移動
- ・ Shiftキーを押しながら 同上の操作 → 完全に削除（「ごみ箱」に残らない）
- ・ 左ボタンで対象を、「ごみ箱」にドラッグ → 「ごみ箱」に移動
- ・ Shiftキーを押しながら 同上の操作 → 完全に削除（「ごみ箱」に残らない）
- ・ マウス右ボタンでドラッグ操作する → 実行前に確認ダイアログが表示されます。

注意：「ごみ箱」の設定

「削除」の動作は、ごみ箱の設定で変更されている場合があります。変更されていることを知らずに「削除」を実行すると、「ごみ箱」には移動せず、完全に削除されてしまう場合があるので、注意して下さい。

「ごみ箱」をマウス右クリックして設定メニューから「プロパティ」を表示します。



ごみ箱は、対象の存在するドライブにより、複数存在することが分かります。

削除した対象の処理方法を指定します。

通常は、「カスタムサイズ」にチェックが付いています。この場合は、削除した対象は、指定の「ごみ箱」に移動します。

アにチェックを付けると、削除した対象は、完全削除され、「ごみ箱」には残りません。

イのチェックを外すと、削除時のメッセージは表示されません。（いきなり削除されます。）

「ごみ箱」の設定が、
「ごみ箱にファイルを移動しない」にチェックされており、さらに
「確認メッセージを表示する」のチェックが外されている 場合、
間違えた操作で削除してしまっても、対象を取り戻すチャンスが無くなるので注意が必要です。

1-4 文字コード764

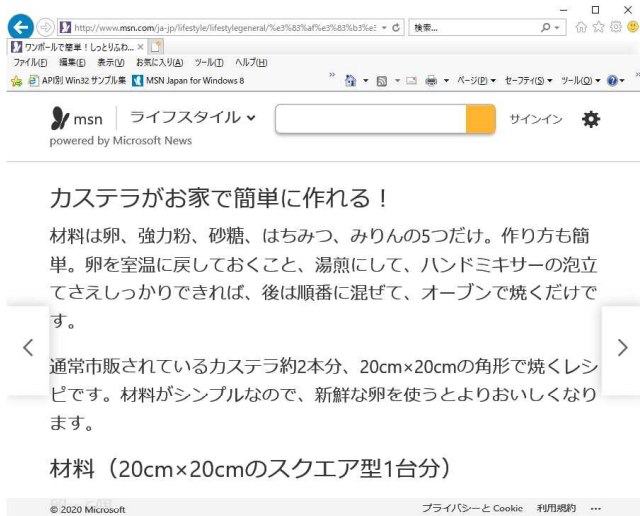
「文字コード」は、コンピュータで文字を扱う時に使用するコードのことで、全ての国のコンピュータで共通に使用される文字コード（ASCIIコード⁶⁴）①と、各国固有の言語（例えば日本語や中国語など）を表現する為のコード（ユニコード⁶¹⁰）②があります。

①のASCIIコードは、基本的には英語のアルファベットを表現するコードで、フランス語やロシア語などのアルファベットは、拡張されたASCIIコードが使用されています。私達が使用するコンピュータの「半角英数字（大文字/小文字）及び記号」はこのコードです。（日本語モードOFFの状態、キーボードから入力できる文字）

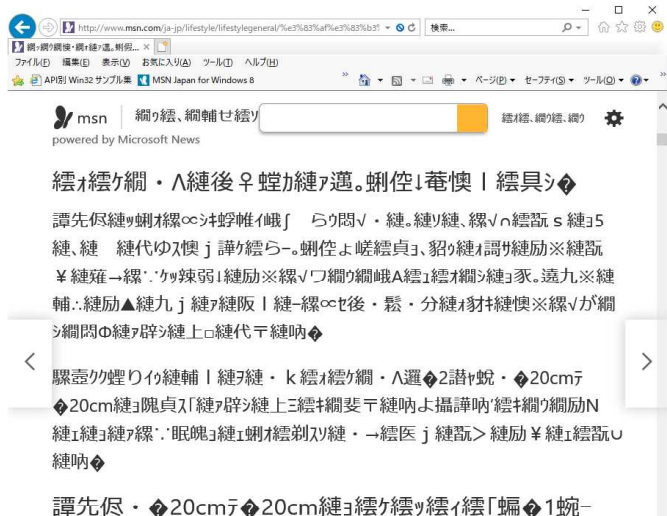
②のユニコードは、日本語、ハングル、ラテン語、ギリシャ語、アラビア語など、各国の固有文字を表現するコードで、Windows 7からコンピュータでの多国言語文字の表現で利用されています。（これ以前のWindowsでは、例えば日本語はShift-JISコード²³⁷を使うなど、各国で勝手に？決めた文字コードを利用していました。）

全てのコンピュータの世界で、ユニコードが使用されていれば、何も問題は起こりませんが、そう単純ではありません。コンピュータの種類や使用するアプリケーションによっては、必ずしもユニコードが使われているとは限らないのです。他の文字コードで処理されたデータを、ユニコードとして処理すると、「文字化け⁷⁶⁵」を起こして、意味不明の文字列になる場合があります。

<文字化けの例> ユニコードで表示



Shift-JISで表示



上記の例のように、文字コードの対応が間違っていると、意味不明の文字列として表示されてしまいます。（半角の数字やアルファベットは、ASCIIコードなので、部分的に同じ表示になっています。）

このように、「日本語の表示がおかしい」場合は、「文字コードの問題」が発生している可能性があるため、アプリケーションがどの文字コードに対応しているかを確認して下さい。

参考：Win書庫V4.1は、ユニコードに対応しています。また、V3.5以前のデータと互換性を保つために、一部のデータは、Shift-JISのデータでも、内部的にユニコードに変換して処理しています。また、Windows7以降では、Windowsそのものに、他形式の文字コードを、内部的にユニコードに変換して処理する仕組みが働いています。このように、通常は「文字コード」を意識してコンピュータを使用する必要はありませんが、「文字化け⁷⁶⁵」が頻繁に起こるようなら、「文字コード」に関わる何らかの問題が起こっていると考え、サポートを受ける必要があるでしょう。

1-5 スクリーンショット

「スクリーンショット415」は、デスクトップの画面全体や一部を、「画像として切り取る」操作のことです。切り取った画像は、一時的に「クリップボード374」に保存されるので、「ペイント」などの画像ソフトや「Word」や「Excel」などのアプリケーションに「貼り付け」することができます。

この操作は、キーボードの「PrintScreen」キーを使って行う方法と、「Snipping Tool」というWindows10付属のソフトを使って行う方法があります。

◇PrintScreenキーを使ったスクリーンショット（全画面またはアクティブウィンドウ）

全画面のスクリーンショットは、「PrintScreenキー」を押すだけ

アクティブウィンドウのスクリーンショットは、「Altキー」を押しながら「PrintScreenキー」を押す

後は、貼り付けたいソフト上で、マウス右クリック「貼り付け」を実行

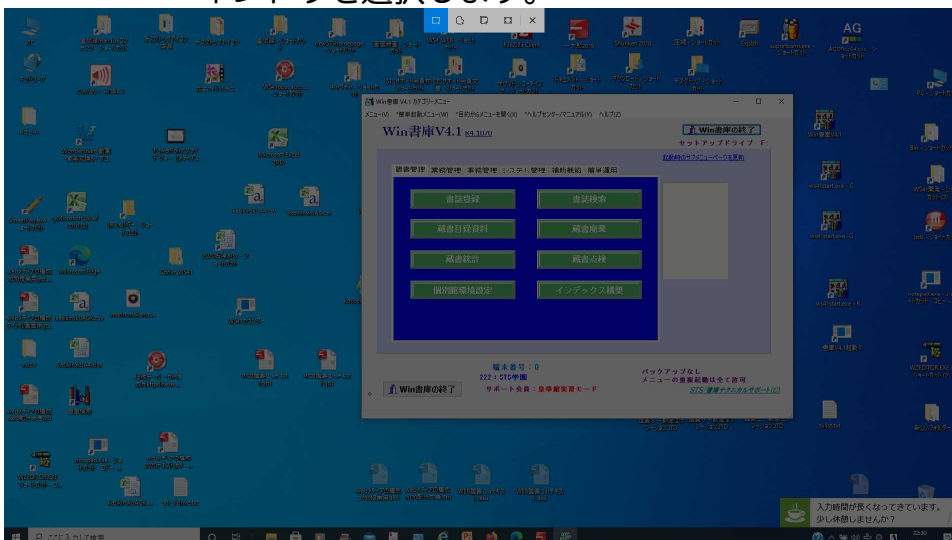
◇Snipping Tool を使ったスクリーンショット（矩形で指定した任意の範囲）

Windows10には、2種類のSnipping Tool がありますが、ここではより使いかっの良い「ショートカットから起動するTool」を紹介します。

①スクリーンショットを実行したい画面を表示

②左手で「Shiftキー」と「Windowキー」をしながら、右手で「S」キーを押す。（同時に3つのキーを押す）

③画面モードが「Snippingモード」になるので、「モード」を指定し、スクリーンショットを実行する範囲を、マウスでドラッグして指定するか、実行するウィンドウを選択します。



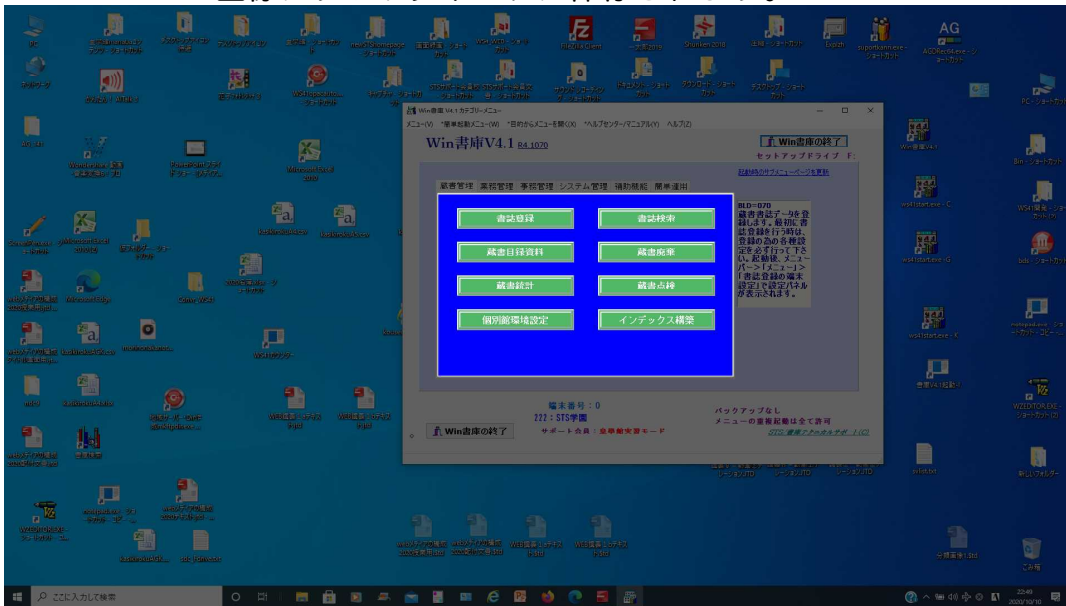
画面が薄暗くなり、範囲を指定する十字マークが表示されます。

デスクトップ真上に「切り取りモード」を指定する次のアイコンが表示されます。



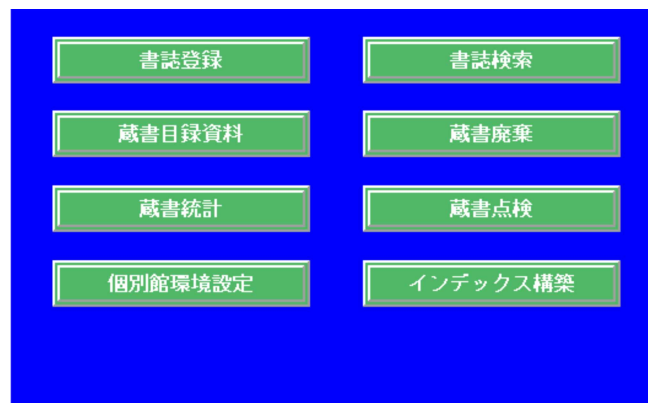
矩形範囲 自由範囲 ウィンドウ 全画面 中止

④切り取る画面の指定が終わると、自動的に「Snippingモード」が終了し、
 画像はクリップボードに保存されます。

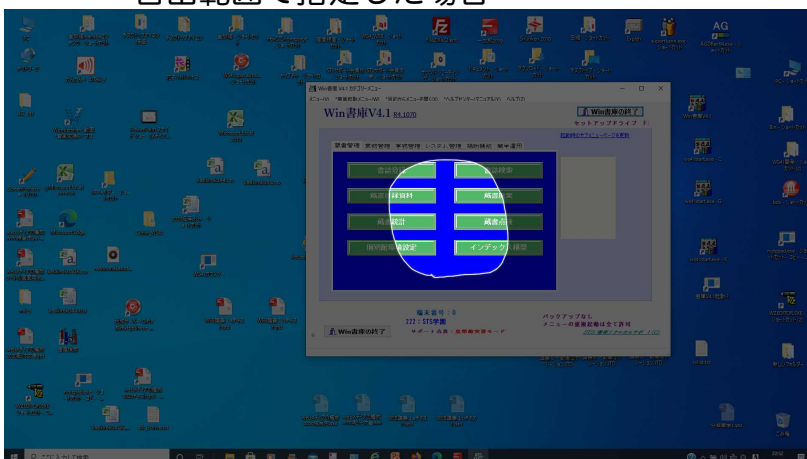


矩形で指定
 ハイライトの
 部分が指定した
 範囲

⑤画像を貼り付けるアプリケーション画面を表示し、マウス右クリック「貼り付け」を実行する



自由範囲で指定した場合



注：上の画像と右の画像は、同じ操作で作成した
 スクリーンショットではありません。自由範囲
 指定の場合の概略を示したものです。